

平成 24 年 度 当 初 予 算 資 料

1 会計別予算	P	1
2 一般会計歳入歳出予算（歳入）	P	2
3 歳入の主な増減	P	3
4 一般会計歳入歳出予算（歳出）	P	4
5 歳出の主な増減	P	5
6 歳出予算款別財源内訳表	P	6
7 歳出予算性質別目的別分類表	P	8
8 一般会計当初予算の推移	P	10
9 税等収入予算資料	P	12
10 市税等の推移（決算ベース）	P	14
11 地方債年度末現在高の推移	P	16
12 一般会計歳出予算（部局別）	P	18
13 各部局当初予算説明資料	P	19
危 機 管 理 監	P	19
政 策 推 進 部	P	25
総 務 部	P	32
財 政 経 営 部	P	37
市 民 文 化 部	P	42
福 祉 部	P	55
健 康 部	P	72
商 工 農 水 部	P	85
環 境 部	P	100
都 市 整 備 部	P	110
会 計 管 理 室	P	124
議 会 事 務 局	P	125
監 査 事 務 局	P	126
教 育 委 員 会	P	127
消 防 本 部	P	144
上 下 水 道 局	P	149
市 立 四 日 市 病 院	P	155
14 防災対策事業について	P	158
15 バリアフリー化事業について	P	160
16 災害時要援護者対策事業について	P	161
17 子育て関係事業について	P	162
18 環境関連事業について	P	165

平成24年度会計別予算

(単位 千円)

区 分		平成24年度 予算額(A)	平成23年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)
会 計 名					
一 般 会 計		102,774,000	104,560,000	1,786,000	98.3
特 別 会 計	競 輪 事 業	16,572,700	15,081,000	1,491,700	109.9
	国 民 健 康 保 険	28,855,500	27,887,900	967,600	103.5
	食肉センター食肉市場	553,100	542,400	10,700	102.0
	土 地 区 画 整 理 事 業	782,800	785,900	3,100	99.6
	住宅新築資金等貸付事業	13,900	15,400	1,500	90.3
	公 共 用 地 取 得 事 業	1,212,924	1,291,844	78,920	93.9
	農 業 集 落 排 水 事 業	921,900	435,200	486,700	211.8
	介 護 保 険	18,238,800	16,536,900	1,701,900	110.3
	後 期 高 齢 者 医 療	4,802,900	4,369,800	433,100	109.9
	計	71,954,524	66,946,344	5,008,180	107.5
公 会 営 企 業 計	水 道 事 業	10,076,385	9,941,237	135,148	101.4
	市立四日市病院事業	21,764,965	24,840,569	3,075,604	87.6
	下 水 道 事 業	24,708,139	22,385,915	2,322,224	110.4
	計	56,549,489	57,167,721	618,232	98.9
桜 財 産 区		36,200	34,800	1,400	104.0
合 計		231,314,213	228,708,865	2,605,348	101.1

平成24年度一般会計歳入歳出予算（歳入）

(単位 千円)

区 分 款 別	平成24年度 予算額(A)	平成23年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) — × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成24年度	平成23年度
市 税	60,879,200	59,886,600	992,600	101.7	59.2	57.3
2. 地方譲与税	1,200,001	1,190,001	10,000	100.8	1.2	1.1
3. 利子割交付金	150,000	130,000	20,000	115.4	0.1	0.1
4. 配当割交付金	80,000	80,000	0	100.0	0.1	0.1
5. 株式等譲渡所得割交付金	30,000	30,000	0	100.0	0.0	0.0
6. 地方消費税交付金	3,000,000	2,900,000	100,000	103.4	2.9	2.8
7. ゴルフ場利用税交付金	90,000	90,000	0	100.0	0.1	0.1
8. 自動車取得税交付金	290,001	270,001	20,000	107.4	0.3	0.3
9. 地方特例交付金	203,500	494,000	290,500	41.2	0.2	0.5
10. 地方交付税	2,500,000	1,600,000	900,000	156.3	2.4	1.5
うち普通交付税	1,700,000	1,000,000	700,000	170.0	1.7	1.0
11. 交通安全対策特別交付金	73,612	73,430	182	100.2	0.1	0.1
分担金及び負担金	1,211,967	1,177,948	34,019	102.9	1.2	1.1
使用料及び手数料	2,060,483	2,138,329	77,846	96.4	2.0	2.1
14. 国庫支出金	13,006,714	14,668,554	1,661,840	88.7	12.7	14.0
15. 県支出金	5,871,201	6,109,078	237,877	96.1	5.7	5.8
財産収入	124,380	136,405	12,025	91.2	0.1	0.1
寄附金	8,721	8,757	36	99.6	0.0	0.0
繰入金	525,328	941,378	416,050	55.8	0.5	0.9
繰越金	600,238	1,000,256	400,018	60.0	0.6	1.0
諸収入	4,680,854	4,929,863	249,009	94.9	4.6	4.7
21. 市債	6,187,800	6,705,400	517,600	92.3	6.0	6.4
うち臨時財政対策債	3,420,000	3,000,000	420,000	114.0	3.3	2.9
歳入合計	102,774,000	104,560,000	1,786,000	98.3	100.0	100.0

付数字は自主財源

【款別の主な増減(歳入)】	(単位:千円)		
	平成23年度予算額	平成24年度予算額	増減
市税			
市民税	21,972,600	23,044,300 (1,071,700)
固定資産税	30,752,700	29,887,700 (865,000)
市たばこ税	1,877,600	2,254,000 (376,400)
事業所税	2,120,000	2,645,800 (525,800)
地方交付税			
普通交付税	1,000,000	1,700,000 (700,000)
特別交付税	600,000	800,000 (200,000)
使用料及び手数料			
霊園使用料	106,145	76,980 (29,165)
ごみ処理手数料	497,321	468,591 (28,730)
国庫支出金			
障害者自立支援法給付費負担金	1,326,555	1,464,963 (138,408)
障害者通所支援事業負担金	0	52,238 (52,238)
子ども手当・子どものための手当給付費負担金	6,123,800	4,203,900 (1,919,900)
生活保護費負担金	5,132,250	4,728,000 (404,250)
循環型社会形成推進交付金	9,475	117,769 (108,294)
社会資本整備総合交付金	128,014	272,261 (144,247)
公園事業費補助金	82,000	112,000 (30,000)
地域住宅交付金	0	139,550 (139,550)
学校施設環境改善交付金	27,517	83,760 (56,243)
県支出金			
障害者自立支援法給付費負担金	663,277	732,477 (69,200)
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	252,645	296,668 (44,023)
子ども手当・子どものための手当給付費負担金	749,100	876,050 (126,950)
市町村合併支援交付金	42,100	8,100 (34,000)
乳幼児医療費補助金	195,200	238,879 (43,679)
介護基盤緊急整備等特別対策事業補助金	343,600	106,200 (237,400)
安心こども基金保育基盤整備事業補助金	187,266	96,511 (90,755)
子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金	275,297	208,244 (67,053)
緊急雇用創出事業臨時特例交付金	187,551	124,256 (63,295)
県知事選挙費委託金	39,900	0 (39,900)
繰入金			
グリーンニューディール基金繰入金	58,602	0 (58,602)
廃棄物処理施設整備基金繰入金	0	59,190 (59,190)
市立四日市病院整備基金繰入金	679,390	248,750 (430,640)
繰越金			
一般繰越金	1,000,000	600,000 (400,000)
諸収入			
土地開発公社貸付金元利収入	513,000	170,217 (342,783)
中小企業振興資金融資預託金元利収入	2,071,000	2,246,300 (175,300)
駐車場収入納入金	70,938	0 (70,938)
市債			
ごみ処理施設整備事業資金	1,440,000	213,200 (1,226,800)
埋立処分場整備事業資金	80,000	15,000 (65,000)
道路整備事業資金	94,500	187,600 (93,100)
河川改良事業資金	298,300	350,500 (52,200)
街路築造事業資金	369,200	323,000 (46,200)
公営住宅整備事業資金	0	81,000 (81,000)
義務教育施設整備事業資金	663,800	821,300 (157,500)
臨時財政対策資金	3,000,000	3,420,000 (420,000)

平成 24 年度 一般会計歳入歳出予算 (歳出)

(単位 千円)

区 分 款 別	平成24年度 予算額(A)	平成23年度 予算額(B)	差引増減額 (A) - (B)	(A) —— × 100(%) (B)	構成比率 (%)	
					平成24年度	平成23年度
1. 議 会 費	714,824	777,675	62,851	91.9	0.7	0.7
2. 総 務 費	11,148,065	11,417,963	269,898	97.6	10.8	10.9
3. 民 生 費	34,025,468	36,175,030	2,149,562	94.1	33.1	34.6
4. 衛 生 費	10,184,528	11,773,189	1,588,661	86.5	9.9	11.3
5. 労 働 費	50,270	51,076	806	98.4	0.0	0.1
6. 農 林 水 産 業 費	1,504,242	1,456,779	47,463	103.3	1.5	1.4
7. 商 工 費	4,081,263	3,482,252	599,011	117.2	4.0	3.3
8. 土 木 費	16,102,116	15,702,867	399,249	102.5	15.7	15.0
9. 消 防 費	3,315,899	3,326,125	10,226	99.7	3.2	3.2
10. 教 育 費	9,827,717	8,890,856	936,861	110.5	9.6	8.5
11. 公 債 費	11,719,608	11,406,188	313,420	102.7	11.4	10.9
12. 予 備 費	100,000	100,000	0	100.0	0.1	0.1
歳 出 合 計	102,774,000	104,560,000	1,786,000	98.3	100.0	100.0

【款別の主な増減(歳出)】		(単位:千円)	
	平成23年度予算額	平成24年度予算額	増減
議会費			
議員共済負担金	226,037	147,279 (78,758)
総務費			
退職手当	1,545,000	1,174,376 (370,624)
防災システム整備事業費	6,920	166,931 (160,011)
防災倉庫整備事業費	6,396	83,519 (77,123)
市税過納返還金	300,000	220,000 (80,000)
市税前納報奨金	25,500	0 (25,500)
戸籍住民基本台帳事務費	193,710	106,496 (87,214)
市議会議員選挙費	142,297	0 (142,297)
市長選挙費	0	88,280 (88,280)
民生費			
子ども医療費助成	494,300	610,000 (115,700)
サテライト型特別養護老人ホーム建設費補助金	232,000	0 (232,000)
消防設備整備費補助金	50,800	0 (50,800)
認知症高齢者グループホーム建設費補助金	0	90,000 (90,000)
県土地開発公社所有地買戻し事業費	78,603	0 (78,603)
後期高齢者医療特別会計繰出金	2,441,206	2,581,297 (140,091)
障害者介護給付費	2,136,625	2,265,191 (128,566)
障害者訓練等給付費	440,000	562,599 (122,599)
地域相談体制強化事業費	86,212	34,233 (51,979)
子ども手当・子どものための手当	7,622,000	5,956,000 (1,666,000)
保育所整備事業費	67,700	6,250 (61,450)
保育所事務費事業費(児童一般分)	2,009,000	2,140,000 (131,000)
民間保育所整備事業費	333,600	185,974 (147,626)
扶助費(生活保護費)	6,840,000	6,301,000 (539,000)
国民健康保険特別会計繰出金	2,019,705	1,688,357 (331,348)
介護保険特別会計繰出金	2,484,987	2,559,805 (74,818)
衛生費			
公害に関する資料館整備事業費	10,000	69,770 (59,770)
朝明広域衛生組合負担金	499,932	458,742 (41,190)
新総合ごみ処理施設整備事業費	1,495,050	467,939 (1,027,111)
埋立処分場延命化事業費	170,000	205,000 (35,000)
埋立処分場整備事業費	140,000	20,000 (120,000)
ごみ収集車両整備事業費	67,577	30,072 (37,505)
検診事業費	276,997	318,378 (41,381)
子宮頸がん等ワクチン接種事業費	641,457	485,951 (155,506)
病院事業費出資金	1,101,022	613,294 (487,728)
病院事業費補助金	61,805	186,354 (124,549)
農林水産業費			
市単土地改良事業費	32,221	58,300 (26,079)
かんがい排水事業費	65,000	30,650 (34,350)
磯津漁港海岸保全事業費	70,000	100,000 (30,000)
商工費			
企業立地奨励金交付事業費	632,000	1,008,000 (376,000)
住宅リフォーム補助事業費	0	20,000 (20,000)
中小企業振興資金融資預託金	2,071,000	2,246,300 (175,300)
土木費			
道路改良単独事業費	54,820	189,100 (134,280)
社会資本整備総合交付金事業費(道路)	10,000	194,000 (184,000)
社会資本整備総合交付金事業費(橋梁)	110,000	70,000 (40,000)
浜園ターミナル施設等撤去事業費	74,800	0 (74,800)
四日市港管理組合負担金	1,674,180	1,596,760 (77,420)
曙町市営住宅建設事業費	54,000	266,000 (212,000)
消防費			
退職手当	131,400	80,600 (50,800)
消防車両購入費	191,217	137,558 (53,659)
分団等整備事業費	3,796	23,243 (19,447)
教育費			
退職手当	151,367	286,400 (135,033)
新学習指導要領教材整備費(小)	81,000	0 (81,000)
河原田小学校改築事業費	640,350	273,571 (366,779)
大規模改修事業費(小)	4,100	119,700 (115,600)
吊天井崩落対策事業費(小)	0	137,394 (137,394)
(仮称)大矢知中学校新設事業費	29,000	702,500 (673,500)
久留倍史跡整備事業費	25,100	150,791 (125,691)
その他運動施設整備事業費	0	105,000 (105,000)
霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費	72,000	0 (72,000)
公債費			
地方債元利償還金	11,381,188	11,694,608 (313,420)

歳 出 予 算 款 別

款 別	本 年 度 予 算 額	左 の 財		
		国 庫 支 出 金	県 支 出 金	地 方 債
1. 議 会 費	714,824			
2. 総 務 費	11,148,065	12,104	723,279	396,500
3. 民 生 費	34,025,468	11,975,840	4,344,989	
4. 衛 生 費	10,184,528	231,356	384,911	273,500
5. 労 働 費	50,270			
6. 農林水産業費	1,504,242		121,650	21,700
7. 商 工 費	4,081,263	3,000	28,609	
8. 土 木 費	16,102,116	574,476	22,124	1,164,800
9. 消 防 費	3,315,899		85,000	56,100
10. 教 育 費	9,827,717	209,938	158,190	855,200
11. 公 債 費	11,719,608		2,449	
12. 予 備 費	100,000			
計	102,774,000	13,006,714	5,871,201	2,767,800
歳入振替項目	/			3,420,000
総 計	102,774,000	13,006,714	5,871,201	6,187,800

構成比については端数処理のため合計が合わない場合があります

財 源 内 訳 表

(単位 千円)

源 内 訳			前 年 度 一 般 財 源	一般財源投入率 (%)	
				本年度	前年度
使用料及び手数 数	そ の 他	一 般 財 源			
	431	714,393	777,241	1.0	1.1
175,610	159,360	9,681,212	9,899,165	13.3	13.9
2,199	1,398,447	16,303,993	16,221,375	22.4	22.8
840,103	1,337,702	7,116,956	7,034,431	9.8	9.9
335		49,935	49,809	0.1	0.1
228	101,491	1,259,173	1,203,685	1.7	1.7
	2,395,260	1,654,394	1,253,048	2.3	1.8
621,710	125,862	13,593,144	13,577,336	18.7	19.1
83,060	307,757	2,783,982	2,757,054	3.8	3.9
136,291	377,534	8,090,564	7,429,618	11.1	10.4
63,659	184,139	11,469,361	10,812,304	15.8	15.2
		100,000	100,000	0.1	0.1
1,923,195	6,387,983	72,817,107	71,115,066	100.0	100.0
137,288	763,505	4,320,793	4,371,034		
2,060,483	7,151,488	68,496,314	66,744,032		

歳 出 予 算 性 質 別

区 分	本 年 度		前 年 度	
	予 算 額 (A)	一 般 財 源 (B)	予 算 額 (C)	一 般 財 源 (D)
1. 人 件 費	16,555,500	14,934,636	16,768,093	15,134,972
(1) 報 酬	585,998	583,169	641,478	635,590
(2) 基 本 給	7,584,494	6,134,220	7,522,650	6,059,271
(3) そ の 他 の 手 当	4,266,920	4,160,510	4,214,265	4,110,526
(4) 退 職 手 当	1,541,376	1,531,976	1,827,767	1,819,567
(5) 恩 給 退 職 年 金	4,105	4,105	4,105	4,105
(6) そ の 他	2,572,607	2,520,656	2,557,828	2,505,913
2. 物 件 費	14,041,445	11,739,779	14,183,679	11,696,404
3. 維 持 補 修 費	1,646,878	888,957	1,610,118	843,780
4. 扶 助 費	22,001,158	6,499,721	23,454,358	5,997,206
5. 補 助 費 等	15,140,702	13,775,944	15,169,493	13,712,825
6. 投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金	2,911,894	364,544	3,231,956	421,632
7. 積 立 金	466,937	116,500	487,951	116,500
8. 繰 出 金	8,068,206	7,014,274	8,088,790	7,074,783
9. 公 債 費	11,719,608	11,469,361	11,406,188	10,812,304
10. 投 資 的 経 費	10,121,445	5,913,391	10,059,127	5,204,660
(1) 普 通 建 設 事 業	9,747,093	5,892,039	9,655,687	5,181,020
イ、補 助	2,364,877	342,723	3,217,941	374,328
ロ、単 独	7,382,216	5,549,316	6,437,746	4,806,692
(2) 災 害 復 旧 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(3) 失 業 対 策 事 業				
イ、補 助				
ロ、単 独				
(4) 県 営 事 業 負 担 金	374,352	21,352	403,440	23,640
11. 予 備 費	100,227	100,000	100,247	100,000
合 計	102,774,000	72,817,107	104,560,000	71,115,066

目的別分類表

(単位 千円)

比 較				構 成 比 率 (%)			
予 算 額		一 般 財 源		本 年 度		前 年 度	
(A) - (C)	(A)/(C) × 100 (%)	(B) - (D)	(B)/(D) × 100 (%)	予 算 額	一 般 財 源	予 算 額	一 般 財 源
212,593	98.7	200,336	98.7	16.1	20.5	16.0	21.3
55,480	91.4	52,421	91.8	0.6	0.8	0.6	0.9
61,844	100.8	74,949	101.2	7.4	8.4	7.2	8.5
52,655	101.2	49,984	101.2	4.2	5.7	4.0	5.8
286,391	84.3	287,591	84.2	1.5	2.1	1.8	2.6
0	100.0	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14,779	100.6	14,743	100.6	2.5	3.5	2.4	3.5
142,234	99.0	43,375	100.4	13.7	16.1	13.6	16.5
36,760	102.3	45,177	105.4	1.6	1.2	1.5	1.2
1,453,200	93.8	502,515	108.4	21.4	8.9	22.4	8.4
28,791	99.8	63,119	100.5	14.7	18.9	14.5	19.3
320,062	90.1	57,088	86.5	2.8	0.5	3.1	0.6
21,014	95.7	0	100.0	0.5	0.2	0.5	0.2
20,584	99.7	60,509	99.1	7.9	9.6	7.7	9.9
313,420	102.7	657,057	106.1	11.4	15.8	10.9	15.2
62,318	100.6	708,731	113.6	9.8	8.1	9.7	7.3
91,406	100.9	711,019	113.7	9.5	8.1	9.3	7.3
853,064	73.5	31,605	91.6	2.3	0.5	3.1	0.5
944,470	114.7	742,624	115.4	7.2	7.6	6.2	6.8
29,088	92.8	2,288	90.3	0.4	0.0	0.4	0.0
20	100.0	0	100.0	0.1	0.1	0.1	0.1
1,786,000	98.3	1,702,041	102.4	100.0	100.0	100.0	100.0

構成比については、四捨五入しておりますので合計が合わない場合があります。

一 般 会 計 当 初

年度	一 般 会 計		歳 入						
	伸 び 率	市 税	地 方 交 付 税		市 債		繰 入 金		
			普 通	特 別	発 行 額	市 債 依 存 度			
平 成	%	%	実 績	実 績		%			
8	94,337,200	2.6	48,511,700	51.4	-	951,334	13,814,300	14.7	1,090,120
9	94,917,000	0.6	53,613,680	56.5	-	980,457	10,425,900	11.0	700,000
10	91,013,000	4.1	52,890,100	58.1	-	1,079,724	6,460,200	7.1	2,470,000
11	90,900,000	0.1	52,202,800	57.4	2,348,319	1,215,065	5,299,300	5.8	1,692,000
12	93,280,000	2.6	50,140,900	53.8	3,042,159	1,288,142	5,868,500	6.3	2,908,000
13	95,760,000	2.7	51,120,000	53.4	2,988,761	1,236,052	8,382,800	8.7	2,840,000
14	94,580,000	1.2	49,616,000	52.4	4,100,304	1,183,361	8,394,200	8.9	3,175,000
15	90,990,000	3.8	47,339,000	52.0	3,974,549	1,105,390	9,451,300	10.4	2,600,000
16	95,980,000	5.5	48,305,000	50.3	2,039,446	1,105,338	13,373,200	13.9	1,445,000
17	93,290,000	2.8	50,395,300	54.0	2,769,273	1,162,118	8,782,500	9.4	180,000
18	95,400,000	2.3	53,605,700	56.2	786,908	1,045,152	8,468,700	8.9	1,130,000
19	98,138,000	2.9	58,053,600	59.2	807,954	799,504	7,947,500	8.1	300,000
20	99,848,000	1.7	63,244,700	63.3	385,604	783,864	6,004,900	6.0	0
21	97,382,000	2.5	61,144,400	62.8	825,917	784,864	5,105,300	5.2	0
22	99,141,000	1.8	57,959,600	58.5	830,000	260,000	5,817,500	5.9	849,041
23	104,560,000	5.5	59,886,600	57.3	1,000,000	600,000	6,705,400	6.4	14,253
24	102,774,000	1.7	60,879,200	59.2	1,700,000	800,000	6,187,800	6.0	15,169

予 算 の 推 移

(単位 :千円)

繰 入 金	歳 出							繰 出 金
	競 輪	公 債 費	構 成 比	地 方 債 年 度 未 残 高	投 資 的 経 費			
					う ち 普 通 建 設 事 業 費			
					補 助	単 独		
実績		%	実績					
50,000	7,889,890	8.4	89,283,768	23,714,303	6,947,530	16,729,274	8,907,190	
20,000	8,815,769	9.3	99,938,335	22,358,602	4,789,663	17,539,125	9,254,338	
50,000	9,759,014	10.7	105,489,490	16,663,239	4,384,578	12,234,355	9,736,790	
50,000	10,322,312	11.4	106,062,498	13,739,059	5,857,512	7,827,935	10,218,412	
50,000	11,402,980	12.2	105,427,282	13,757,572	4,660,986	8,470,905	11,993,916	
50,000	11,635,219	12.2	105,328,737	15,957,660	5,532,111	9,865,564	12,115,049	
10,000	12,484,540	13.2	104,684,936	13,142,840	1,999,812	10,322,178	5,068,066	
50,000	12,343,622	13.6	104,476,960	10,305,917	1,359,639	8,529,628	5,439,030	
100,000	18,557,091	19.3	105,425,611	9,605,201	2,007,201	7,521,250	5,762,733	
0	12,733,510	13.6	102,599,283	11,515,480	3,504,972	7,853,883	6,397,305	
0	12,836,604	13.5	100,338,490	12,976,803	2,792,118	10,084,376	6,621,011	
0	12,620,315	12.9	98,296,307	12,525,578	2,371,154	9,819,624	6,710,597	
0	12,959,925	13.0	98,828,006	11,519,976	1,733,390	9,430,111	7,932,841	
100,000	12,659,464	13.0	96,414,973	9,026,030	1,285,914	7,687,241	8,216,381	
500,000	11,614,100	11.7	90,104,253	8,259,618	1,861,904	5,993,839	7,900,832	
100,000	11,406,188	10.9	90,578,701	10,059,127	3,217,941	6,437,746	8,088,790	
100,000	11,719,608	11.4	85,913,933	10,121,445	2,364,877	7,382,216	8,068,206	

平成24年度税等収入予算資料

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納率見込%	本年度当初予算計上額(A)	前年度当初予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
市税		63,461,878	95.9	60,879,200	59,886,600	101.7
1. 市民税		24,615,370	93.6	23,044,300	21,972,600	104.9
一 個人		19,432,043	92.1	17,898,100	17,269,600	103.6
イ、現年度分	150,875(人)	18,036,146	97.3	17,549,200	16,895,700	103.9
所得割	6%	17,583,521	97.3	17,108,800	16,460,600	103.9
均等割	3,000(円)	452,625	97.3	440,400	435,100	101.2
ロ、繰越分		1,395,897	25.0	348,900	373,900	93.3
二 法人	8,247(社)	5,183,327	99.3	5,146,200	4,703,000	109.4
イ、現年度分		5,161,321	99.6	5,140,700	4,700,600	109.4
法人税割	13.5%	4,161,321	99.6	4,144,700	3,703,600	111.9
均等割	5、12、13、15、16、40、 41、175、300(万円)	1,000,000	99.6	996,000	997,000	99.9
ロ、繰越分		22,006	25.0	5,500	2,400	229.2
2. 固定資産税		30,774,272	97.1	29,887,700	30,752,700	97.2
一 固定資産税		30,741,572	97.1	29,855,000	30,717,400	97.2
イ、現年度分		29,944,184	99.0	29,639,700	30,519,000	97.1
土地分	1.4%	8,645,437	98.3	8,498,500	8,547,900	99.4
家屋分	1.4%	8,515,303	98.3	8,370,500	9,213,800	90.8
償却資産分	1.4%	12,783,444	99.9	12,770,700	12,757,300	100.1
ロ、繰越分		797,388	27.0	215,300	198,400	108.5
二 国有資産等所在 市町村交付金		32,700	100.0	32,700	35,300	92.6
イ、現年度分		32,700	100.0	32,700	35,300	92.6
交付金	1.4%	32,700	100.0	32,700	35,300	92.6
3. 軽自動車税		571,456	93.2	532,700	525,900	101.3
イ、現年度分	106,497(台) 1,000(円) ~ 7,200(円)	538,000	97.3	523,500	516,600	101.3
ロ、繰越分		33,456	27.5	9,200	9,300	98.9
4. 市たばこ税	4,618円/千本 2,190円/千本	2,254,000	100.0	2,254,000	1,877,600	120.0
5. 入湯税	日帰り 1人 80円 宿泊 1人1泊 150円	2,000	100.0	2,000	800	250.0
6. 事業所税		2,659,290	99.5	2,645,800	2,120,000	124.8
イ、現年度分		2,651,837	99.7	2,643,900	2,119,800	124.7
資産割	600円/m ²	2,249,137	99.7	2,242,400	1,874,700	119.6
従業者割	0.25%	402,700	99.7	401,500	245,100	163.8
ロ、繰越分		7,453	25.5	1,900	200	950.0
7. 都市計画税		2,585,490	97.2	2,512,700	2,637,000	95.3
イ、現年度分		2,520,337	99.0	2,495,100	2,620,300	95.2
土地分	0.2%	1,412,290	99.0	1,398,100	1,410,500	99.1
家屋分	0.2%	1,108,047	99.0	1,097,000	1,209,800	90.7
ロ、繰越分		65,153	27.0	17,600	16,700	105.4

(単位 千円)

科目	税率等	調定見込額	収納率見込%	本年度当初予算計上額(A)	前年度当初予算計上額(B)	$\frac{(A)}{(B)} \times 100$ %
地方譲与税		1,200,001	100.0	1,200,001	1,190,001	100.8
1.地方揮発油譲与税		290,000	100.0	290,000	260,000	111.5
2.自動車重量譲与税		610,000	100.0	610,000	630,000	96.8
3.地方道路譲与税		1	100.0	1	1	100.0
4.特別とん譲与税		300,000	100.0	300,000	300,000	100.0
利子割交付金		150,000	100.0	150,000	130,000	115.4
利子割交付金		150,000	100.0	150,000	130,000	115.4
配当割交付金		80,000	100.0	80,000	80,000	100.0
配当割交付金		80,000	100.0	80,000	80,000	100.0
株式等譲渡所得割交付金		30,000	100.0	30,000	30,000	100.0
株式等譲渡所得割交付金		30,000	100.0	30,000	30,000	100.0
地方消費税交付金		3,000,000	100.0	3,000,000	2,900,000	103.4
地方消費税交付金		3,000,000	100.0	3,000,000	2,900,000	103.4
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
ゴルフ場利用税交付金		90,000	100.0	90,000	90,000	100.0
自動車取得税交付金		290,001	100.0	290,001	270,001	107.4
自動車取得税交付金		290,001	100.0	290,001	270,001	107.4
地方特例交付金		203,500	100.0	203,500	494,000	41.2
地方特例交付金		203,500	100.0	203,500	494,000	41.2

基金の状況

(単位：千円)

基金名	平成24年度末 残高見込	基金名	平成24年度末 残高見込
桜運動広場整備基金	11,436	ふるさと・水と土保全基金	13,269
土地開発公社経営健全化基金	3,675,124	中小企業振興基金	11,100
国際交流基金	99,329	広域基幹道路整備基金	995,823
文化振興基金	203,379	緑化基金	152,723
財政調整基金	6,987,892	市営住宅整備基金	349,651
都市基盤・公共施設等整備基金	1,327,940	学校施設整備基金	1,183,813
減債基金	316,915	小菅科学教育振興基金	25,163
まちづくり事業基金	2,472,335	土地開発基金	1,151,154
社会福祉事業振興基金	423,656	競輪事業財政調整基金	1,809,003
災害救助基金	107,418	国民健康保険支払準備基金	936,041
廃棄物処理施設整備基金	1,737,690	東橋北住環境整備基金	453
市立四日市病院整備基金	83,365	介護保険給付費支払準備基金	334,512

市税等の推移

年 度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
市 税	97.2%	98.6%	100.4%	104.8%	102.5%
	50,839,465	50,133,200	50,317,982	52,724,859	54,045,765
	98.7%	93.6%	97.1%	106.1%	109.5%
	14,204,296	13,294,067	12,907,800	13,696,359	14,990,751
	84.7%	122.2%	108.8%	126.8%	126.3%
4,487,950	5,485,014	5,967,750	7,568,809	7,537,684	
98.6%	97.4%	100.1%	100.1%	100.3%	
26,899,992	26,199,571	26,221,424	26,253,016	26,337,518	
うち事業所税					
地 方 譲 与 税	96.0%	104.9%	141.5%	126.5%	145.2%
	1,334,308	1,400,068	1,981,641	2,506,349	3,640,316
利 子 割 交 付 金	28.8%	70.5%	98.1%	58.5%	71.9%
	617,784	435,386	426,981	249,861	179,703
配 当 割 交 付 金			皆増	151.5%	148.9%
			88,672	134,296	200,027
株式等譲渡所得割交付金			皆増	227.1%	93.0%
			93,516	212,386	197,566
地方消費税交付金	91.3%	107.4%	109.0%	92.4%	104.0%
	2,699,183	2,900,256	3,162,038	2,922,551	3,040,440
ゴルフ場利用税交付金	95.2%	98.0%	96.8%	98.8%	96.0%
	108,754	106,614	103,217	101,969	97,842
特別地方消費税交付金	皆減				
自動車取得税交付金	94.8%	107.2%	102.1%	100.3%	99.0%
	701,758	752,335	768,479	770,963	762,890
地方特例交付金	96.6%	99.6%	101.4%	101.8%	90.9%
	1,687,946	1,681,143	1,705,436	1,736,681	1,578,349
地 方 交 付 税	119.4%	94.7%	66.8%	98.9%	46.6%
	6,290,170	5,954,225	3,976,031	3,931,391	1,832,060
うち普通交付税	128.1%	94.7%	58.8%	100.6%	28.4%
	4,942,661	4,681,823	2,753,891	2,769,273	786,908
うち特別交付税	95.7%	94.4%	96.0%	95.1%	89.9%
	1,347,509	1,272,402	1,222,140	1,162,118	1,045,152

平成16年度までについては、旧四日市市と旧楠町の決算額の合計

(決算ベース)

(単位 千円)

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (11月補正後)	平成24年度 (当初予算)
111.7% 60,367,262	105.1% 63,419,685	96.5% 61,227,427	97.0% 59,387,874	102.7% 60,974,600	99.8% 60,879,200
122.9% 18,430,530	103.2% 19,024,242	100.5% 19,111,410	90.8% 17,343,888	99.6% 17,269,600	103.6% 17,898,100
114.3% 8,613,826	88.1% 7,587,180	51.2% 3,887,930	134.7% 5,238,580	93.6% 4,903,000	105.0% 5,146,200
107.0% 28,169,484	112.4% 31,667,015	105.0% 33,246,556	94.5% 31,411,633	98.4% 30,902,700	96.7% 29,887,700
			皆増 236,093	1041.1% 2,458,000	107.6% 2,645,800
40.0% 1,457,335	98.4% 1,433,430	89.2% 1,278,194	100.5% 1,284,144	92.7% 1,190,001	100.8% 1,200,001
129.2% 232,175	107.5% 249,672	81.9% 204,414	94.5% 193,213	67.3% 130,000	115.4% 150,000
115.5% 231,081	44.3% 102,432	76.2% 78,091	119.8% 93,534	85.5% 80,000	100.0% 80,000
89.4% 176,535	19.9% 35,051	113.7% 39,854	76.4% 30,453	98.5% 30,000	100.0% 30,000
98.3% 2,989,911	94.2% 2,815,636	108.2% 3,046,168	99.8% 3,040,936	95.4% 2,900,000	103.4% 3,000,000
102.2% 99,947	97.1% 97,054	97.8% 94,953	101.0% 95,913	93.8% 90,000	100.0% 90,000
94.0% 717,325	90.4% 648,213	53.6% 347,336	91.5% 317,718	85.0% 270,001	107.4% 290,001
25.3% 399,135	170.1% 679,061	102.2% 694,124	74.4% 516,518	95.6% 494,000	41.2% 203,500
87.7% 1,607,458	72.8% 1,169,468	137.7% 1,610,781	154.8% 2,493,344	102.0% 2,544,254	98.3% 2,500,000
102.7% 807,954	47.7% 385,604	214.2% 825,917	199.9% 1,651,021	117.8% 1,944,254	87.4% 1,700,000
76.5% 799,504	98.4% 783,864	100.1% 784,864	107.3% 842,323	71.2% 600,000	133.3% 800,000

上段は対前年度比

地方債年度末

年度		18決算	19決算	20決算	21決算	22決算	
区分							
普通会計	一般会計	100,338,490	98,296,307	98,828,006	96,585,032	92,581,596	
	うち減税補てん債 (借換債含む)	11,078,711	10,153,447	9,185,099	8,172,276	7,117,782	
	うち臨時財政対策債	16,803,350	18,719,501	20,288,656	22,924,184	25,703,058	
	特別会計	土地区画整理事業	4,077,107	3,736,457	3,307,943	2,882,654	2,500,023
		住宅新築資金等 貸付事業	115,448	94,709	78,302	39,073	33,789
		公共用地取得事業 (都市下水路分)	8,176,966	7,630,702	6,867,138	5,629,090	4,403,590
	計	113,317,515	110,347,596	109,649,204	105,675,037	100,023,924	
	うち合併特例債 (基金造成含む)	4,547,200	8,305,200	10,485,714	11,366,435	11,726,407	
	収益	競輪事業会計	25,301				
準公営企業	食肉センター 食肉市場事業	1,783,229	1,735,359	1,742,604	1,632,459	1,527,106	
	公共下水道事業						
	農業集落排水事業	1,975,703	1,987,183	1,946,148	1,927,891	1,936,138	
	計	3,758,932	3,722,542	3,688,752	3,560,350	3,463,244	
公営企業	水道事業	21,197,872	19,483,177	17,526,743	17,051,448	17,364,861	
	市立四日市病院事業	2,817,649	3,744,942	3,539,494	3,053,377	2,983,779	
	下水道事業	101,600,715	100,258,068	97,689,452	95,201,618	93,003,999	
	計	125,616,236	123,486,187	118,755,689	115,306,443	113,352,639	
重複分		609,505	589,421	567,815	539,188	504,926	
合計		242,108,479	236,966,904	231,525,830	224,002,642	216,334,881	

現在高の推移（過去の決算額に楠町分を含む）

(単位 千円)

23見込	24当初予算				
	償還元金	償還利子	元利合計	発行額	残高
89,979,591	10,253,458	1,441,150	11,694,608	6,187,800	85,913,933
6,050,036	1,081,178	81,518	1,162,696		4,968,858
27,474,728	1,356,494	323,515	1,680,009	3,420,000	29,538,234
2,150,188	353,937	38,413	392,350		1,796,251
28,631	3,929	1,167	5,096		24,702
3,178,087	1,164,513	48,411	1,212,924		2,013,574
504,926	34,670	6,367	41,037		470,256
95,841,423	11,810,507	1,535,508	13,346,015	6,187,800	90,218,716
12,357,092	1,504,989	152,007	1,656,996	1,184,600	12,036,703
1,418,414	125,231	25,071	150,302	13,000	1,306,183
(14年度以降については、四日市市分は公営企業会計で計上)					
1,984,803	71,802	42,734	114,536	313,600	2,226,601
3,403,217	197,033	67,805	264,838	326,600	3,532,784
17,224,035	727,449	421,212	1,148,661	580,000	17,076,586
7,388,846	723,590	123,904	847,494	2,012,500	8,677,756
91,948,469	5,145,499	2,210,769	7,356,268	4,067,200	90,870,170
116,561,350	6,596,538	2,755,885	9,352,423	6,659,700	116,624,512
504,926	34,670	6,367	41,037		470,256
215,301,064	18,569,408	4,352,831	22,922,239	13,174,100	209,905,756

一般会計歳出予算【部局別】

(単位:千円、%)

区分		24年度当初	23年度当初	増減額	伸率
部局		A	B	A - B	C / B × 100
危機管理監		510,828	168,100	342,728	203.9
政策推進部		3,442,481	3,636,089	193,608	5.3
総務部		4,800,813	5,133,876	333,063	6.5
財政経営部		21,904,591	21,825,535	79,056	0.4
市民文化部		1,773,861	1,671,434	102,427	6.1
福祉部		27,073,678	29,159,594	2,085,916	7.2
健康部		3,077,477	3,134,871	57,394	1.8
商工農水部		5,104,879	4,487,581	617,298	13.8
環境部		5,763,499	6,959,634	1,196,135	17.2
都市整備部		6,927,519	6,377,296	550,223	8.6
会計管理室		26,975	27,621	646	2.3
議会事務局		714,824	777,675	62,851	8.1
選挙管理委員会		118,091	243,259	125,168	51.5
監査事務局		87,067	86,726	341	0.4
教育委員会		9,683,928	8,741,846	942,082	10.8
消防本部		3,310,822	3,324,465	13,643	0.4
企業補助費等 企業会計に対する	上下水道局	7,180,377	7,196,783	16,406	0.2
	市立四日市病院	1,272,290	1,607,615	335,325	20.9
合計		102,774,000	104,560,000	1,786,000	1.7

部局別予算説明資料

危機管理監

新年度予算における基本的な方針

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、津波によりたくさんの命が奪われた。本市においても、近い将来に発生すると想定されている東南海地震及び南海地震などへの地震及び津波防災対策をはじめ、市民の生命と財産を災害などから守るための「安全と安心の確保」は、市の最重点課題であり、さまざまな取組を推進していく必要がある。そのため、地域防災計画の見直し、木造住宅の耐震化の促進及び地域における自主防災活動の推進及び人材育成を図る。

防災対策の推進及び危機管理体制の整備について

東南海地震及び南海地震などの大規模地震対策のため、地域防災計画を見直し、地震被害の事前軽減に取り組む。まず、耐震化促進事業として、木造住宅の無料耐震診断、耐震補強計画策定費補助、耐震補強工事費補助等を実施する。また、迅速な情報収集や適切な避難行動が行えるよう、防災行政無線を再整備する。さらに、自らの命は自ら守り地域で助け合えるよう、地域の実情に合わせた体制づくりや人材育成、災害対応、災害時要援護者への支援を引き続き進めるとともに、避難所への防災倉庫整備を進める。

加えて、危機が発生した場合に、それらに効果的・効率的に対処し、市民生活への被害や影響を最小限度にとどめることができるよう、全庁的な危機管理体制の整備とその機能の強化を図る。

【主な事業】	耐震化促進事業	145,950千円
	自主防災組織活性化事業	29,200千円
	防災システム整備事業	166,931千円
	地域防災計画見直し事業	13,521千円
	防災倉庫整備事業	83,519千円

自主防災組織活性化事業

1. 目的

地震等の大規模災害に対応するため「自らの命は自ら守る」という防災対策の基本に立ち、市民の自助努力や地域連携による共助が行われやすいように自主防災組織の活動支援を行い、市民による自助・共助の推進を図る。

2. 内容

地区防災組織活動補助・・・地区防災組織が実施する防災訓練・防災啓発等の事業に要した経費に対し補助する。

自主防災組織結成補助・・・新規に自主防災組織を結成した場合に、防災資機材の整備に要した経費に対し補助する。

3. 予算額 29,200千円 (財源内訳) 一般財源 29,200千円
(前年度 27,500千円)

自主防災組織の結成総数

区分	H18	H19	H20	H21	H22	H23
地区防災組織	25	29	29	29	29	29
自主防災組織	649	658	667	672	674	676

担当 危機管理監 危機管理室
内系
354-8119

防災システム整備事業

1. 目的

大規模災害発生時において有線回線が途絶した場合であっても、市内の被災状況の把握及び関連部局に対する必要な指示、住民への情報の伝達など災害応急対策、復旧活動が迅速、円滑に実施できるよう、防災行政無線の整備を図る。

2. 内容

防災行政無線（移動系）については、財団法人移動無線センターが管理運営を行っている、マルチチャンネルアクセスシステム（MCA）を利用した通信システムの構築をし、平成23年度に策定した「デジタル防災行政無線システム更新基本構想」に基づき、市役所（災害対策本部）をはじめ各地区市民センター及び指定避難所など、主要な災害拠点施設へのMCA無線機の配備を行う。

防災行政無線（固定系）については、「デジタル防災行政無線システム更新基本構想」に基づき、設計を行う。

3. 予算額	166,931千円	（財源内訳）	県支出金（石油）	61,366千円
（前年度	6,920千円）		市 債	32,200千円
			一般財源	73,365千円



高機能型指令局



半固定型



携帯型

担当 危機管理監 危機管理室
行方
354 - 8119

地域防災計画見直し事業

1. 目的

大規模地震や風水害などの災害が発生した場合に備え、避難所の確保をはじめ、被災者の避難誘導や避難者の生活支援などをあらかじめ準備するための計画が地域防災計画である。現在の地域防災計画について被害想定などを含めた見直しを行う。

2. 内容

平成23年度に行った地域防災計画見直し検討委員会の報告を受け、有識者等を交えた地域防災計画見直し専門委員会を設置し、地域防災計画の策定作業を行う。災害発生時に早急に被災者台帳の整備を行なうとともに、被災関連情報をすぐに見つけ出し被災者支援や復旧・復興業務に役立つ被災者支援システムを整備する。

3. 予算額 13,521千円 (財源内訳) 一般財源 13,521千円
(前年度 0千円)

担当 危機管理監 危機管理室
岡本
354-8119

防災倉庫整備事業

1. 目的

避難所運営などの災害時の初期対応に備蓄品は不可欠である。このことから、既に防災倉庫の整備を済ませた小中学校に続いて、小中学校以外の全ての指定避難所で防災倉庫の整備を完了させ、地震等の大規模災害時の備えを充実する。

また、東海・東南海・南海地震等の連動で東日本大震災級の地震が発生する恐れがあることが新たに分かり、避難者の想定人数が現在の想定人数から増加することが予想される。このことから、新たな拠点防災倉庫の設置場所調査及び整備方針の検討を進める。

2. 内容

指定避難所防災倉庫整備・・・小中学校以外の全ての指定避難所に防災倉庫を整備し、防災資機材、備蓄食糧を配備する。

拠点防災倉庫整備調査・・・新たな拠点防災倉庫を整備するために必要な調査を行う。

3. 予算額	83,519千円	(財源内訳) 県支出金	5,000千円
(前年度	6,396千円)	一般財源	78,519千円

担当 危機管理監 危機管理室
山本
354 - 8119

政策推進部

新年度予算における基本的な方針

平成23年度を初年度とする新たな総合計画に掲げた目指すべき都市像を実現するため、5つの基本目標に位置付けた重点的な施策の全庁的な推進を図る。

また、30万都市に見合った権限及び財源を有した基礎自治体として、市民に身近な行政サービスをより一層効率的に提供できるよう、中核市移行に向けた具体的な取り組みを推進する。

広報について、昨年度設置した広報戦略会議を活用しながら、各種の情報媒体の有効活用など、四日市の知名度向上に向けた効果的な情報発信を推進する。

また、広聴に関しては、市政アンケートを始め、多様な手段で市民ニーズを的確に把握し、具体的な施策への反映に努める。

さらに、東京事務所における、首都圏での本市の魅力発信や地元製品の広報宣伝など、情報発信の強化や、本市ゆかりの人材を活かした、地域活性化策の具体的な検討などを推進する。

1. 総合計画の推進について

「四日市市総合計画(2011年度～2020年度)」に基づく第1次推進計画の的確な進行管理に努めるとともに、進捗と成果についての評価・検証を行う。また、総合計画における重点的な施策を推進するにあたり、庁内横断的に関係部局と連携して効果的な施策展開を図るとともに、職員からの政策提案制度の活用により、意欲ある職員の柔軟な発想を吸い上げる取り組みを強化していく。

また、遊休化が見込まれる公共施設や社会情勢の変化に伴い用途を見直すべき公共施設などについては、市民ニーズに即した利活用に向けた具体化策の構築に向け、調査検討、並びに関係者との協議を行う。

【主な事業】	総合計画推進事業費	2,673千円
	公共施設有効活用調査検討事業費	3,000千円
	政策評価検証事業費	380千円

2. 中核市移行の推進について

産業廃棄物不適正処理事案である大矢知・平津事案に係る実施協定書の対策工事が、本年度中に国の承認を受ける状況となってきたことから、仮に工事期間中の中核市移行においても、県の財政負担の担保や人的・技術的支援の担保が行われるよう、県との具体的な協議を進める。

また、権限移譲をはじめ、地域主権に関する国の動向なども十分把握しながら、中核市移行に向けた庁内調整等を着実に進める。あわせて、県との諸協議を十分行っていく。

【主な事業】	中核市移行推進事業費	1,000千円
--------	------------	---------

3. 国際経済交流等の推進について

本市の産業発展、グローバル化の中での、本市の更なる経済活力向上等に向けて、戦略的な展開を図るため、四日市・天津経済交流センターが取り組む各種事業なども活用して、幅広い情報収集や検討調査等を行う。

【主な事業】 国際経済交流等調査事業費 3,000千円

4. 四日市港の整備促進について

本市の産業発展を物流面で支えるとともに、市民に親しまれる港湾空間も提供している四日市港の更なる整備・充実を図るため、「四日市港長期構想」及び「四日市港港湾計画」の着実な促進を図る。特に名古屋港との緊密な連携のもと、伊勢湾全体のモノの流れを増加させる「国際産業ハブ港」の実現に向け、臨港道路霞4号幹線などの整備促進や、ポートセールスなどの集荷対策をより一層強化していく。

また、災害発生時の緊急物資等の海上輸送のための耐震強化岸壁の整備、並びに海岸保全施設の整備促進を図るとともに、本市のまちづくりと一体となった港づくりに向けて、「末広橋梁」や「潮吹き防波堤」などの観光資源を活かした周遊コースの設定等を促進する。

【主な事業】 四日市港管理組合負担金 1,596,760千円

5. 広報施策の推進について

広報戦略会議に参画する、4人の四日市市市政情報発信アドバイザーを、それぞれの専門分野別のアドバイザーとしても参画いただき、広報紙や市政情報番組、ホームページなどの更なる改良を図る。また、市政や施策に関する情報を市民にわかりやすく提供するとともに、市内外により効果的に発信していく。

その一環として、広報よっかいちについて、特集記事の充実に主眼をおいたりリニューアルを行うとともに、ホームページについて、統一感があり、求める情報にすばやくアクセスできるなど、市民や事業者など利用者のニーズに応えられるものにリニューアルする。

【主な事業】 広報刊行物発行費 60,198千円
市政番組等制作費 22,195千円
市政情報発信アドバイザー事業費 1,487千円
情報発信強化事業費 2,500千円

6. 広聴施策の推進について

市内各地区において市民ニーズや地域の声を取り上げる場として、平成23年度から実施している市長の政策懇談会を、引き続き未実施の9地区において開催する。また、「市政アンケート」や電子メールを利用した「市政ごいけんばん」のシステムを活用し、市政全般に対する市民の意識や要望などを的確に把握する。

【主な事業】 市政アンケート事業費 1,735千円
市政ごいけんばん事業費 365千円

7. シティセールスの推進について

四日市市の知名度向上に向けての具体的な取り組みとして、東京における注目度の高いエリアで、本市の新たな魅力を発信するイベントを開催するとともに、昨年度チャレンジした全国から注目される都内商店街のアンテナショップへの本格進出を目指す。また多様な手法で、本市の魅力発信や地元製品の販路開拓等に努め、本市のイメージアップを図っていく。

また、首都圏において活躍されており、本市にもゆかりのある方の中から委嘱している地域活性化アドバイザーを十分活用して、産業の高度化や活性化、文化・芸術のまちづくりなどに資する各種施策を展開していく。

さらに、新たな市のPR手段として、全国的にも取り組みが進む映画・テレビドラマなどの誘致の可能性等について調査・研究を行う。

【主な事業】 シティセールス推進事業費 6,000千円

総合計画推進事業

1. 目的

総合計画における重点的な施策を推進するため、平成23年度から25年度までの3年間を計画期間とする第1次推進計画に位置づけた事業の的確な進行管理を図るとともに、庁内における議論を活発化させ、職員の政策提案制度も引きつづき実施する。

また、新たな社会経済情勢の変化や多様な市民・事業者のニーズに的確に対応していくため、統廃合予定の学校施設や用途を見直すべき公共施設などに関して、有効活用に向けた調査・検討を行う。

2. 内容

(1) 総合計画推進事業

「四日市市総合計画（2011年度～2020年度）」に基づく第1次推進計画の的確な進行管理に努めるとともに、進捗と成果について評価・検証を行う。また、総合計画における重点的な施策を推進するにあたり、部局横断的な取り組みにより、具体的な施策の展開を図る。

また、職員による政策提案制度を実施し、意欲ある職員の柔軟な発想を取り入れた事業推進に取り組む。

調査研究事業費	2,000千円
政策提案事業費	673千円
政策評価検証事業費	380千円

(2) 公共施設有効活用調査検討事業

学校規模適正化により統廃合予定の学校施設など今後遊休化が予想される公共施設や、用途を見直す必要がある公共施設について、社会状況や市民・事業者のニーズに対応できるよう、施設の有効活用方法などについて調査・検討を実施する。

公共施設有効活用調査検討事業費	3,000千円
-----------------	---------

3. 予算額

6,053千円	(財源内訳)	一般財源	6,053千円
(前年度	8,005千円)		

担当 政策推進部 政策推進課 森、加藤 354-8112

中核市移行推進事業

1. 目的

30万都市に見合った権限及び財源を有した基礎自治体として、市民に身近な行政サービスを総合的・効率的に提供し、都市としての魅力を高めることができるよう、早期の中核市移行を推進する。

中核市移行に際し、懸案となっている産業廃棄物不適正処理事案（大矢知・平津事案）については、平成23年11月23日に市長立会いのもと、両地区連合自治会と県による具体的な対策工法に係る実施協定書が締結された。この産廃特措法の延長を前提とした実施協定書に基づく対策工事が、国により認められる時期に向けて、本市が中核市に移行した場合の、県の財政負担の担保や人的・技術的支援の具体的手法に関して、市（政策推進部、環境部）と県（政策部、環境森林部）の具体的な協議を進める。

2. 内容

(1) 中核市移行推進事業

産業廃棄物不適正処理事案（大矢知・平津事案）について、財政上の課題、本市への人的・技術的支援方法に係る覚書の締結に向けて県と市との協議を行うとともに、スムーズな中核市移行に向けて、移譲事務などに関して、庁内調整・準備作業を行う。

また、中核市市長会等の関係団体から情報収集を行うとともに、中核市移行に関する先行事例を調査するなど、幅広く研究を行う。

権限移譲については、地域主権に関する法案などの情報を確実に把握しながら、庁内準備を着実に進め、県の各部局との調整を図る。

3. 予算額 1,000千円 （財源内訳）一般財源 1,000千円
（前年度 380千円）

担当	政策推進部	政策推進課	中核市推進室
	荒木、矢澤		354-8562

市政情報の発信強化について

1. 目的

市内外に、より効果的に情報発信するため、4人の四日市市市政情報発信アドバイザーに、専門分野におけるアドバイザーとしても参画していただき、本市独自の先進的な広報戦略を展開していく。

24年度は、広報よっかいちについて、特集記事の充実を主眼としたリニューアルを行うほか、ホームページを市民や事業者のニーズに応えられるようリニューアルする。また市政情報提供番組による市内外への情報発信を強化するとともに、多様な広報媒体を有効活用して、相乗効果を高めていく。

これらの取り組みにより、市政情報の発信強化と提供内容に対する利用者の満足度を向上させ、都市としてのイメージアップにつなげていく。

2. 内容

(1) 市政情報発信アドバイザー事業 1,487千円

4人の四日市市市政情報発信アドバイザーに専門分野での指導・助言も求めるとともに、先進事例や新しい視点からの広報戦略の助言を受けるための有識者なども招聘しながら、広報戦略会議を開催する。

(2) 広報紙デザイン制作委託（広報刊行物発行費） 5,544千円

広報よっかいち上旬号に掲載する特集記事のデザイン・レイアウト、イラスト・グラフ作成等について、専門業者を活用しながら、見ごたえのある紙面構成とし、より市民に親しまれ読まれる広報紙とする。

(3) 情報発信強化事業 2,500千円

ホームページを統一感があり、より使いやすく、求める情報にすばやくアクセスできるようにリニューアルする。あわせてインターネット検索する場合に四日市に関連するキーワードによって市のホームページが常に上位に掲載されるような工夫をしていく。

(4) 市政情報提供番組・放送委託（市政番組等制作費） 17,745千円

テレビ放送を有効活用して、市内外に市政情報を、映像媒体の特性を生かして、わかりやすく、あるいは楽しく美しく、市民の生き生きとした様子も織り交ぜながら発信していく。また、ホームページ、広報紙など他の広報媒体との連携による相乗効果も高めていく。

3. 予算額 27,276千円 （財源内訳）一般財源 27,276千円 （前年度 32,757千円）

担当 政策推進部 広報広聴課
餅井、森
354-8244

シティセールス推進事業

1. 目的

首都圏における四日市の魅力発信や地元製品の宣伝を行うため、継続的な情報発信に努めるとともに、四日市市ゆかりの人材を活かしてシティセールスアドバイザーを委嘱するほか、本市出身の方々などと協働して本市の地域活性化や都市のイメージ向上に取り組んでいく。

2. 内容

(1) シティプロモーション事業 4,105千円

四日市市の知名度向上に向けての具体的な取り組みとして、東京における注目度の高いエリアで、本市の新たな魅力を発信するイベントを開催するとともに、昨年度チャレンジした全国から注目される都内商店街のアンテナショップへの本格進出を目指す。また多様な手法で、本市の魅力発信や地元製品の販路開拓等に努め、本市のイメージアップを図っていく。

また、新たな市のPR手段として、全国的にも取り組みが進む映画・テレビドラマなどの誘致の可能性等について調査・研究を行う。

(2) シティセールスアドバイザー事業 1,895千円

首都圏において活躍されており、本市にもゆかりのある方の中から委嘱している地域活性化アドバイザーを十分活用して、産業の高度化や活性化、文化・芸術のまちづくりなどに資する各種施策を展開していく。

3. 予算額

6,000千円 (財源内訳) 一般財源 6,000千円
(前年度3,350千円)

担当 政策推進部 東京事務所
牧野・大橋
03-3263-3038
政策推進部 広報広聴課
澁谷・田中
059-354-8244

総務部

新年度予算における基本的な方針

一人ひとりの人権が尊重されるまちを目指し、人権・同和行政についての各種の答申を踏まえた施策の推進を図る。

また、公正かつ効率的な行政運営を推進するため、法務管理、文書管理や入札契約制度、工事検査などの各種の内部管理業務を適切に執行する。

人事管理面では、市民と行政が一体となってまちづくりを進める協働の時代に対応した多様な研修を行い、職員のさらなる意識の改革と資質の向上を図るとともに、長期的な展望に立って、かつ、市民目線で高い職務遂行能力を発揮することができる職員の養成を図る。

情報化推進では、システム安定運用の維持に努めるとともに、クラウド導入などの新しい技術を調査・研究し、より迅速かつ効率的なシステム運用の推進を図る。

1. 人権施策の推進について

平成16年3月の四日市市同和対策委員会からの答申「今後の同和行政のあり方について」や平成19年8月の四日市市同和行政推進審議会からの答申「今後の同和行政のあり方について(答申)」の具体化を図るための仕組みについて」など、各種の答申を踏まえ、すべての人が自分らしい生き方のできる社会となるよう施策の推進を図る。

さらに、地域における人権教育・啓発・学習の拠点である人権プラザの利便性、安全性の向上を図るため、施設の改修を行い、市民利用を促進する。

【主な事業】	人権教育・啓発推進事業	16,740千円
	人権相談体制強化事業	1,040千円
	人権啓発リーダー養成事業	2,057千円
	人権プラザ就業支援事業	4,156千円
	人権活動拠点施設整備事業	35,406千円

2. 職員研修の充実について

社会経済情勢の著しい変化や複雑・多様化する市民ニーズに的確に対応し、市民から信頼される職員の育成を図るため、階層別研修において、職務遂行能力を高めるための法令遵守、市民満足度向上、問題解決・発想力パワーアップ、政策法務、簿記財務基礎等の研修を実施するほか、管理職及び若手職員を対象にメンタルヘルス研修を実施する。

特別研修では、リーダーシップやコミュニケーション能力の向上、セルフケアセミナー等の研修を実施し、職員の意識改革を進める。

また、団塊の世代の職員の大量退職に伴い、専門性が求められる建設技術系職員の知識、技術力等の向上を図るため、新たに建設技術系職員を対象として、階層・年代に応じたきめ細かな研修を実施していく。

さらに、派遣研修では、自治大学校、市町村アカデミー、技術系職員研修機関等の外部研修機関へ積極的に職員を派遣する。

【主な事業】	階層別研修費	8,989千円
	建設技術系職員研修費	1,000千円
	特別研修費	1,778千円
	派遣研修費	7,788千円

3. 情報化の推進について

住民情報システムを始めとする窓口業務を支援するシステムの充実を図る一方、行政内部事務の効率化を図る行政内部システムの保守運用管理を行い、システム安定運用の維持に努める。

平成24年度は、平成23年度に引き続き住民基本台帳法改正に伴うシステム改修作業などのシステム運用保守を行うとともに、平成25年度に予定する行政事務用パソコンの更新に向けたOSやオフィスツールの研究や検証作業のほか、クラウド導入などの新しい技術の調査・研究を行い、行政環境の変化に柔軟に対応できるよう準備を進めていく。

【主な事業】	窓口支援システム保守運用経費	172,151千円
	行政内部システムIT基盤整備事業	294,300千円
	行政サービスのIT化事業	16,970千円
	行政内部システムIT化事業費	30,754千円

4. 入札契約制度について

業務委託や公共工事等の入札契約制度については、各種の改善検討について取り組みを実施するとともに、競争性及び客観性の確保並びに透明性の向上を図り、その執行を適正に行う。

また、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の趣旨に基づき実施している総合評価方式についても、引き続き取り組む。

5. 工事検査について

「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が平成17年4月1日に施行され6年が経過するが、発注者の責務として工事中及び完成時の施工状況の確

認及び評価を適切に実施することがより一層求められている。このため、施工途中における監督員の段階確認を確実に実施するよう指導に努め、適正な履行を確認するための工事検査を行うとともに、受注者の技術能力を測る指標のひとつとして、適切な評価を与える。

なお、完成検査時に検測や確認のできない不可視部分の出来形や品質については、随時検査を実施し、品質確保の観点から指導を行う等、より充実した内容とする。

6 . 市長選挙の執行について

平成 24 年 12 月 23 日任期満了に伴う市長選挙を適正に執行する。

【主な事業】 市長選挙費

85 , 493 千円

人権教育・啓発推進事業

1. 目的

市内各地域における住民の人権啓発活動に対する支援や、全市的な人権啓発活動である「じんけんフェスタ」の充実を図るとともに、地域の人権啓発活動を効果的に進めるための「人権教育・啓発推進プログラム」を分野ごとに、体系的に作成し、住民主体の人権啓発活動の推進を図り、本市における人権意識の向上を図る。

2. 内容

(1) 市民人権活動支援事業

積極的に人権啓発活動を展開している各地区人権・同和教育推進協議会等の活動を支援するとともに、人権に関する全国規模の研究会、研修大会への市民の参加を支援する。

各地区人権・同和教育推進事業

各地区人権・同和教育推進協議会及び各ブロック単位での教育・啓発・広報活動の委託、並びに広域での複数の地区人権・同和教育推進協議会やブロックによる啓発・交流活動や調査・研究活動の委託

市民人権学習支援事業

全国規模の研究会、研修大会（現在 14 種類）への参加経費（参加費、交通費、宿泊費）の一部補助（一般：1/2、学生：4/5）

(2) 人権教育・啓発推進プログラム事業

人権教育・啓発活動における指導的役割を担える人材育成や各種の人権啓発活動に寄与するため、各種の人権課題ごとに、人権に対する関心度や理解度等に応じた教材や学習マニュアル等の作成を行う。

(3) 人権フェスタ事業

12 月の人権週間に合わせて、文化会館を会場に「じんけんフェスタ」を開催し、人権講演会や、市内人権啓発活動団体の取り組みを紹介する「人権のひろば展」を実施し、広く市民に対して人権を考える機会を提供する。

3. 予算額 16,740 千円 (財源内訳) 一般財源 13,600 千円
(前年度 16,740 千円)

担当 総務部人権センター
森
: 354 - 8157

四日市市長選挙

1. 目的

平成24年12月23日の任期満了に伴う市長選挙を、適正に執行するとともに投票率の向上を図る。

2. 内容（主なもの）

（1）投票環境の向上 予算額 2,841千円

投票環境の向上を図るため、当日投票所を2箇所増設する。また、施設のバリアフリー等についても改善を図る。

（2）啓発事業 予算額 3,326千円

オリジナルイラストを活用した啓発（新規）

四日市市出身の漫画家（現代洋子）によるオリジナルイラストを作成し、ポスター、のぼり、横断幕等についてもイラストを活用することにより親しみやすくする。活用例の主なものは、「ぬりえ」を作成し、市内の幼稚園・保育園の児童へ配布し、家庭内でのポスターとして保護者への周知を図る。従来 of 啓発媒体にもオリジナルイラストを活用する。

インターネット、携帯電話等を活用した啓発（新規）

選挙への関心を高めてもらうため、インターネット、携帯電話等を活用して選挙に関する情報を発信する。活用例としてはゲーム感覚で気軽に楽しめる『「四日市市「ゆるキャラ」人気投票』を実施し、選挙に親しんでもらうとともに、参加者に対して定期的に情報発信を行う。

若者主体の啓発

特に投票率の低い若年層への取り組みとして、選挙啓発学生会「ツナガリ」との連携を図り、若者の発想によるポスターを作成するなど啓発事業を展開する。

3. 予算額 85,493千円（財源内訳） 一般財源 85,493千円
（平成20年度予算額 136,063千円 電子投票）

担当 選挙管理委員会事務局
森、中村
TEL 354-8269

財 政 経 営 部

新年度予算における基本的な方針

四日市市総合計画(平成23年度～平成32年度)の2年目として、当初予算編成にあたっては、5つの基本目標の達成に向けた推進計画事業を着実に実施する。

また、その下支えとなる「行財政改革プラン2011」については、健全で持続可能な財政運営のため中期の財政見通しの視点を踏まえ、引き続き目標達成に向け財政規律の堅持に努める。

市税については、財源確保のため、さらなる収納率の向上を図るほか、納税者に税制度の十分な理解が得られるよう周知・広報を行いながら、課税対象者の的確な把握に努め、公平かつ適正な課税を行う。さらに引き続き自主納付の推進と効率的かつ効果的な滞納対策に取り組むことにより、累積滞納額の削減に努める。

1. 健全な財政運営の推進について

総合計画の推進計画を着実に実施するため、「行財政改革プラン2011」における新たな財政運営の指針に基づき、健全な財政運営に努める。

また、平成25年度の予算編成においては、厳しい経済情勢の中にあって、推進計画事業を実効性のあるものとするため、行財政改革を着実に推進するとともに、行政一般経費の削減に取り組むことを基本とし、予算編成方針を定める。

【主な事業】 財政管理経費(感謝の気持ち事業除く) 5,814千円

2. 行財政改革等の推進について

「行財政改革プラン2011(23年度～25年度)」の各改革項目の着実な進捗管理を図ることにより、行財政改革を推進する。

平成16年度から導入した指定管理者制度については、指定管理者の選定方法、利用料金制のあり方、モニタリングの手法など様々な課題があることから、制度の運用について見直しを行う。

なお、平成23年度事業のモニタリングについては、指定管理者によるサービスが適切かつ確実に提供されているかという視点に立ち、適正な実施に努める。

【主な事業】 行財政改革推進費 931千円

3. 市税の賦課徴収について

(1) 市税自主納付の推進と滞納額の削減

市税収納については、口座振替や市県民税特別徴収の推進を図るとともに、平成24年度よりコンビニで納付できる税目を市県民税、固定資産税・都市計画税に拡大し、納税者の利便性の向上と自主納付の推進を図る。

また、滞納額の削減のため、市税滞納については、滞納初期の段階で納付交渉を行い、納付困難な場合には生活状況に応じたきめ細かい納付相談を行うとともに、引き続き効率的かつ効果的な滞納整理を実施する。あわせて所管課から移管を受けた税外債権についても引き続き滞納整理を行うことで滞納額の削減に努める。

【主な事業】

自主納税推進経費	14,738千円
税外債権滞納整理事業費	4,974千円

(2) 土地評価業務

本市における市街化区域の土地評価は、「市街地宅地評価法」と「その他の宅地評価法」を併用しているが、市街化区域の土地評価方法を平成27年度評価替えに向け、平成24年度から3年間で「市街化宅地評価法」に一本化する。

【主な事業】 土地評価関係経費	54,484千円
-----------------	----------

4. 公共施設ストックマネジメント事業について

本庁舎や総合会館は建設後、相当年数経過しており、老朽化による建物及び設備の劣化が見られ、施設管理、防災管理上の大きな問題となっている。

そのため、総合計画の推進計画でストックマネジメント事業に位置づけ、計画的な施設・設備の更新を実施し、施設を安全に維持するとともに、維持管理経費の低減や施設（建物）の長寿命化を図っていく。

平成24年度については、市庁舎の外壁改修工事に伴う設計業務委託、総合会館の中央監視装置改修を実施する。

【主な事業】 公共施設ストックマネジメント事業費	27,000千円
--------------------------	----------

5. 公共施設ストックマネジメント計画の策定について

本市が保有する公共施設について、利用状況の変化や現在の財政状況を踏まえ、施設のあり方の見直しによる有効活用や長寿命化による維持管理コストの縮減を図るため、ストックマネジメント計画を策定し、長期的展望に立った計画的な施設整備や維持管理を行なう。

【主な事業】 公共施設長期保全計画策定事業費 18,000千円

6. 新たな財源の確保について

ふるさと応援寄附金、広告収入の拡大、保有資産の活用や売却の推進など、先進自治体の事例も参考にしながら、あらゆる分野において財源の確保に努めます。

【主な事業】 ふるさと応援寄附金「感謝の気持ち」事業 250千円

公共施設ストックマネジメント事業

(市庁舎・総合会館)

1. 目的

本庁舎、総合会館については、建設後相当年数が経過しており老朽化が顕著である。施設の基幹部分に劣化が見られ、施設管理上で問題となっており、設備単体だけでなく、施設（建物）全体へ悪影響を及ぼす可能性がある。

そこで、計画的な施設・設備の改修を実施し、施設を安全かつ快適に維持するとともに、維持管理経費の低減や施設の長寿命化を図る。

2. 内容

総合会館中央監視装置改修工事

総合会館に設置している中央監視装置のリモートユニット計 35 台の更新

市庁舎外壁改修工事設計業務委託

市庁舎の外壁改修工事に伴う設計業務委託。

3. 予算額 27,000 千円 (財源内訳) 一般財源 27,000 千円
(前年度 157,722 千円)

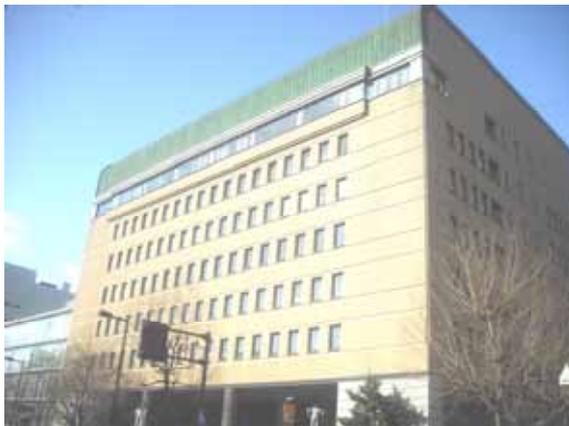


図 1. 総合会館外観



図 2. 中央監視装置(リモートユニット)

担当 財政経営部 管財課
森

354 - 8288

土地評価業務（土地評価関係経費）

1. 目的

本市における市街化区域の宅地の評価は、「市街地宅地評価法」と「その他の宅地評価法」により評価を行っているが、市街化区域の評価方法を「市街地宅地評価法」に一本化する。

2. 内容

平成24年度から3年間で「その他の宅地評価法」により評価を行っている区域を「市街地宅地評価法」による評価方法に移行するためのデータ・資料の作成や現地調査などの業務を委託し、評価方法をシステム化することにより、効率的な賦課業務を行う。

3. 予算額

42,300千円（財源内訳） 一般財源 42,300千円
（前年度 0円）

債務負担行為 期間 平成24年度から平成26年度
限度額 87,800千円

【参考】

・市街地宅地評価法

街路ごとに、当該街路に接する標準的な宅地の1平方メートル当たりの価格を表す路線価を付設し、この路線価に基づいてそれぞれの土地の評価額を求める方法。

・その他の宅地評価法

宅地の接する道路の状況、公共施設の接近の状況、家屋の密集の度合いなど宅地の利用状況がおおむね類似していると思われる地区を区分し、標準的な宅地に基づいてそれぞれの土地の評価額を求める方法。

担当 財政経営部 資産税課
市川、坂倉
TEL 354-8134

市 民 文 化 部

新年度予算における基本的な方針

少子高齢化の進展や生活様式の多様化など社会情勢が変化する中で、人とのつながりや温かさを感じることでできる絆づくりを進めるため、まちづくりを支える多様な人材がその個性と能力を十分発揮でき、互いに連携し合える地域社会の実現を目指していく。そのため、市民生活のさまざまな場面において、市民や市民活動団体等の活動を支援できるような環境づくりに取り組む。

また、本年は「文化力元年」として、本市の文化力の向上と、文化の力による本市の魅力の発信を進めるため、地域に根づく文化の発掘やさまざまな文化の交流、発表に取り組み、愛着と誇りを持てるまちづくりの推進を図る。

さらに、市民一人ひとりが地域社会の構成員として互いの個性を認め合い共に支えあって暮らすことができるよう、男女共同参画社会および多文化共生社会の実現を目指す。

1. 地域社会づくりについて

(1) 市民主体の地域社会づくりを推進するため、地域社会づくり総合事業費補助金等により積極的に市民活動を支援し、自治会やNPO、ボランティアなどの市民活動団体の育成、活性化を図り、多様化かつ複雑化する地域課題の解決、地域コミュニティの維持・向上につなげていく。

(2) 住民による自主防犯活動への支援として、地域の特性に応じた継続性のある取り組みが、全市的に広がるよう、地域防犯活動推進事業費により、タスキなど防犯活動に必要な装備品への支援を行うとともに、防犯活動の普及啓発および活動のレベルアップに取り組む。

また、夜間における犯罪の発生を抑止するため、自治会が管理する防犯外灯の設置・修繕費用や電気代に対し補助を行う中で、特にLED防犯外灯の設置を促進し、維持管理費の負担軽減や温室効果ガス排出の削減を図る。

(3) 市民が地域活動に積極的に参加できるよう地域づくりマイスター養成講座による人材の発掘・育成を進めるとともに、地域の課題解決に向けたニーズと地域で暮らす多様な技能を持つ人材とのマッチングの充実を図る。

【主な事業】 地域社会づくり総合事業費補助金 81,000千円

地区市民センター住民運営推進事業	66,394千円
防犯外灯新設維持費補助金	95,649千円
個性あるまちづくり支援事業	10,362千円
まちづくり人材マッチング事業	1,500千円
地域づくりマイスター養成事業	316千円
地域防犯活動推進事業	3,000千円

2. 市民相談・消費生活相談事業について

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の問題、多重債務問題、消費生活トラブルに関する相談に応じ、市民が自主的に解決できるよう支援する。そのため、弁護士など専門家による特別市民相談の体制充実や、消費生活出前講座などを実施し、消費者被害の未然防止にも努める。

【主な事業】 市民相談室運営費	2,182千円
消費生活相談事業	6,254千円

3. 文化振興について

文化と産業が互いに響きあう魅力と活気あふれたまちを創るため、音楽コンクールを開催し、四日市の文化力を全国へ発信する。

市民の文化活動の拠点である文化会館については、安全で快適に利用していただけるよう、設備の更新やバリアフリー化等を計画的に進めるとともに、8月には開館30周年を迎えることから、記念事業等を実施する。

また、より良い市美術展覧会の開催に向けて、関係者による協議を進めるなど、市民が主体的に行う芸術・文化事業の振興のため支援を図る。

【主な事業】 音楽コンクール開催事業	6,500千円
公共施設ストックマネジメント事業	95,144千円
文化会館等管理運営費	221,947千円
文化会館等施設整備事業	25,580千円
文化会館開館30周年記念事業	5,000千円
文化の駅推進事業	8,520千円
芸術文化活動の場づくり事業	2,700千円
文化振興事業支援事業	1,650千円
民間文化施設文化活動支援事業	800千円

4. 生涯学習活動支援について

市民の企画運営などによる多様な内容で市民大学を開催し、市民に学習の機会を提供するほか、民間を含めた各種学習情報をホームページに掲載するなど、市民の生涯学習活動支援を積極的に行う。

また、地域住民に身近な地区市民センターでは、それぞれの地域課題に応じた講座を開催することで、地域での人材発掘や育成に努める。

【主な事業】 市民大学一般クラス経費	2,406千円
市民大学熟年クラス経費	2,348千円
地区市民センター生涯学習事業	4,860千円

5. 多文化共生社会づくりの推進について

四日市市多文化共生推進プランに基づき、外国人市民が日本で生活する上で必要な情報の提供、国際共生サロン事業、四日市国際交流センターや市民団体とも連携した日本語習得支援や生活相談等を実施し、日本人と外国人の共生に向けた取り組みを進める。

特に、住民の約18%が外国人である笹川地区においては、多文化共生のモデル地区と位置づけ、上記の事業に加え、日本人住民と外国人住民の「顔の見える関係づくり」を築くための交流事業等にも取り組む。

【主な事業】 モデル地区共生推進事業	7,047千円
多文化共生推進事業	7,459千円
国際共生サロン管理運営事業	10,290千円

6. 男女共同参画の推進について

男女共同参画審議会・男女共同参画推進庁内調整会議等との調整を図りながら、「男女共同参画プランよっかいち」および実施計画に掲げている男女共同参画施策を推進する。

また、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について理解を深めるため、商工会議所等と連携し、企業向けの研修を実施する。

さらに、配偶者等からの暴力（DV）に関する相談が平成21年度以降全相談件数の約6割を占めている状況から、今後のDV予防および被害者の立場に立った切れ目のない支援を行っていくために「配偶者暴力対策基本計画」を策定する。また、女性相談体制の充実、男性相談の試行実施及び若年者に対するデートDV予防教育を教育委員会等と連携し進めていく。

【主な事業】	学習機会提供事業	2,628千円
	ワークライフバランス推進事業	1,000千円
	配偶者暴力防止対策事業	1,900千円
	女性相談事業	2,113千円

7. 窓口サービスの充実について

戸籍や住所異動の届出受付、戸籍謄抄本や住民票の証明発行などの窓口業務について、個人情報をも正確かつ安全に管理する。

また、住民基本台帳法の一部改正に伴う外国人住民の住民基本台帳への移行作業を円滑に進めるとともに、市民の視点に立ち、わかりやすく快適な窓口づくりに努める。

【主な事業】	戸籍住民基本台帳事務事業	106,496千円
	市民窓口サービスセンター運営費	3,707千円
	窓口サービスセンター調査研究事業	1,000千円

8. あさけプラザ事業について

あさけプラザは、開館後27年が経過し、建物と設備の長寿命化と維持管理費の低減を図るため、計画的に施設、設備の改修工事を進めている。既設エレベータは、防災面を重視した更新工事を行い、体育館の天井は、大規模地震時の崩落対策工事を実施し、利用者の安全・安心の確保を図る。

また、広域対象の複合施設として、より多くの住民に利用していただけるよう、引き続き効果的・効率的な施設の管理運営に取り組む。さらに、自主事業の見直しにより内容の充実を図るとともに、積極的な広報・PR活動を行い、利用者に親しまれる生涯学習の場としていく。

【主な事業】	施設管理運営費	69,447千円
	公共施設ストックマネジメント事業	114,241千円
	図書資料整備事業	1,250千円
	あさけプラザ運営協議会負担金	1,300千円

9. 楠総合支所について

楠総合支所は、楠地域における行政の窓口として戸籍・住民基本台帳に関する業務や各種相談業務を行うとともに、「楠地区まちづくり構想」実現のため、住民による自主・自立のまちづくり活動の支援や楠公民館や楠公民館図書室を中心とした生涯学習業務を行う。

また、合併特例法に基づき設置された地域審議会において、新市建設計画の進捗状況の管理等を行う。

【主な事業】	地域審議会	2 3 7 千円
	地域活性化事業	6 6 千円
	楠公民館事業	4 0 8 千円
	楠公民館図書室事業	3 , 4 8 4 千円

市民活動支援事業

1. 目的

「市民主体のまちづくり」を推進するため、市民が自主的に取り組む公益活動を支援し、地域コミュニティの充実を目指す。

2. 内容

- (1) 地域社会づくり総合事業費補助金 予算額 81,000 千円
地域が自主的に取り組む様々な事業と各地区の地域社会づくりの推進母体となる団体事務局の運営費に対し、総合的な支援を行う。
- (2) 個性あるまちづくり支援事業 予算額 10,362 千円
市民の自主的な取り組みによる自立した地域社会づくりを推進し、活力ある四日市を創ることを目的として、市民による先駆的な夢のある公益活動を支援する。
- (3) まちづくり人材マッチング事業 予算額 1,500 千円
退職後の団塊の世代など、地域で暮らす多様な技能を持つ人材を有効活用するため、それら人材と地域ニーズとのマッチングを行う。
- (4) 地域づくりマイスター養成事業 予算額 316 千円
地域において市民活動・市民協働を理解し携わる人材の育成とネットワークの構築を目的として講座を実施する。
- (5) 地域防犯活動支援事業費補助金 予算額 2,500 千円
自主防犯団が行う地域の防犯活動について、パトロール活動に必要な用品の整備を支援する。
- (6) 地域防犯活動普及啓発事業 予算額 500 千円
防犯活動のレベルアップを図るため、スキル向上研修や、これから防犯活動を始めようとする地域での講座などを実施する。

3. 予算額 96,178 千円 (財源内訳) 一般財源 96,178 千円
(前年度 96,439 千円)



担当 市民文化部市民生活課
堤・岡本
354-8179

市民相談・消費生活相談事業

1. 目的

安全・安心な市民生活が送れるよう、日常生活上の問題や消費生活トラブルに関する相談事業や消費者啓発活動を通じて、市民が自主的に解決できるよう支援を行う。

2. 内容

(1) 市民相談室運営費 予算額 2,182千円

市民相談では、市民が生活の中で抱える様々な問題に対処する際の支援を行うため、相談員が十分な聞き取りをしたうえで適切な助言を行う。また、専門的な助言を必要とする市民に対しては、弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・公証人・行政相談員による特別相談を定期的を実施する。

(参考)平成22年度相談実績 4,588件

(2) 消費生活相談事業 予算額 6,254千円

消費生活相談では、消費生活のトラブル等に関する相談に対して専門の消費生活相談員が迅速に対応するほか、専門相談員を派遣する出前講座や職員によるワンポイント講座を各地区で開催し、積極的に啓発活動を行う。

(参考)平成22年度相談実績 1,376件

3. 予算額 8,436千円 (財源内訳) 県支出金 2,700千円
(前年度 9,049千円) 一般財源 5,736千円

担当 市民文化部市民生活課
市民・消費生活相談室
葛 巻・松永
354 - 8147

(新)音楽コンクール開催事業

1. 目的

都市の活力の両輪である文化と産業が互いに響きあう、魅力と活気あふれたまちを創るため、音楽が持つ力で人々を感動させ、共感しあう音楽コンクールを開催し、四日市の文化力を全国へ発信する。

2. 内容

「家族」と「絆」をテーマとした、全国公募の音楽コンクールを開催する。

企画、運営は、文化関係団体や産業界、市民の代表などで構成する実行委員会により、市民の協力を得ながら開催する。また、開催経費についても、民間団体・企業等から協賛金等を集めて開催する。

(1) 概要

名称	全国ファミリー音楽コンクール in よっかいち
期日・会場	平成24年10月21日(日) 文化会館 第1ホール
主催	四日市市、全国ファミリー音楽コンクール実行委員会
出場要件	・家族による3人以上のアンサンブル ・楽器による合奏、合唱、その他とする ・ジャンルはクラシック、ポピュラーなど ・プロ奏者は1人のみ参加を可とし、家族に限る ・4人以上の場合は、1人に限り家族以外のメンバーを可とする
賞	グランプリ 100万円 第2位 50万円 第3位 30万円ほか

(2) スケジュール

平成24年度	募集期間	平成24年3月21日(水)~7月20日(金)
	予選審査	7月下旬

3. 予算額	6,500千円	(財源内訳) その他特財	6,500千円
(前年度)	1,500千円)		

(経費内訳)	平成24年度開催経費	5,000千円(債務負担分)
	平成25年度準備経費	1,500千円

担当 市民文化部文化国際課
秦・田中
354-8239

文化会館関連事業

1. 目的

四日市市文化会館は、昭和57年8月の開館以来30周年を迎えることから、記念事業等を実施し、周知を図るとともに、施設の長寿命化と安全で快適な利用環境を創出するため、計画的に設備の改修や備品の更新を行う。

2. 内容

- (1) 文化会館開館30周年記念事業 予算額 5,000 千円
開館30周年を広く市民にPRを行い、市民とともに開館30周年を祝うため、記念コンサートを開催する。
- (2) 公共施設ストックマネジメント事業 予算額 95,144 千円
展示棟ロビーにエレベーターを設置し、バリアフリー化を図るとともに、展示室のクロスおよびリノリウム床の更新を行う。
また、大規模空間(500㎡以上)の吊天井崩落対策として、2階展示室の天井改修工事を行う。
- (3) 文化会館等施設整備事業 予算額 25,580 千円
ハロゲン化物消火設備と粉末小型消火器の更新、第2ホールの音響調整卓、備品の更新を行い、安全に利用できるようにするとともに、展示棟トイレを洋式化して、バリアフリーを進める。
- (4) 文化会館等管理運営費 予算額 221,947 千円
財団法人四日市市まちづくり振興事業団への指定管理料

3. 予算額	347,671千円	(財源内訳)	市債	50,800千円
(前年度)	261,947千円)		その他特財	7,283千円
			一般財源	289,588千円

担当 市民文化部文化国際課
南部
354 - 8239

多文化共生推進事業

1. 目的

南米日系人が多く居住する外国人集住都市として、国籍や文化が異なる市民が互いの個性を認め合い、共に支えあって暮らす「多文化共生社会」を目指す。

2. 内容

(1) モデル地区共生推進事業 予算額 7,047千円

外国人が集住する笹川地区において、地域活動の担い手となる外国人人材育成や交流事業等を行い、外国人の地域活動への参加促進を図ることにより、日本人住民と外国人住民の「顔の見える関係づくり」に取り組む。また、大規模災害発生時における「共助」の観点から、外国人も地域住民の一員として地域で救助・避難支援活動に参画することができるよう、外国人市民向け防災セミナーを実施する。



「外国人市民向け防災セミナー」

(2) 多文化共生推進事業 予算額 7,459千円

外国人市民に行政情報等を正確に伝えるため、日本での生活ルール等を母語で説明する生活オリエンテーションや、行政窓口での通訳対応を行うとともに、通訳による情報の多言語化等に努める。また、外国人市民の日本語や日本社会の習慣・マナー等の学習を促進させるため、経済団体や外国人市民を雇用する企業と連携し、労務担当者向けの啓発セミナーや企業内研修の実施支援を行う。

(3) 国際共生サロン管理運営事業 予算額 10,290千円

外国人支援施設である国際共生サロンにおいて、(財)四日市市まちづくり振興事業団への指定管理により、日本語教室や外国人向け生活相談、交流事業等を実施する。

3. 予算額 24,796千円 (財源内訳) その他特財 2,000千円
(前年度 23,571千円) 一般財源 22,796千円

担当 市民文化部文化国際課
多文化共生推進室
浅野
354-8114

女性相談・配偶者暴力防止対策事業

1. 目的

男女を取り巻く諸問題の解決を図るため、婦人相談員等による相談及び専門家による専門相談を実施することにより、相談体制の充実を図ることを目的とする。

また、配偶者からの暴力の防止や、被害者及びその同伴する児童等の保護、自立に向けた生活支援を関係機関と連携しながら効果的・総合的に実施することを目的とする。

2. 内容

(1) 女性相談事業

男女それぞれの抱える悩みや問題を解決するため、女性の相談員による女性相談や多様化・専門化する相談に対応するため法律相談・臨床心理士相談を実施するほか、男性の相談員による男性相談を試行的に開設する。

また、ドメスティック・バイオレンス(DV)防止のため、大人を対象としたDV防止セミナーを開催するとともに、若年層を対象としたデートDV予防教育を実施する。

(2) 配偶者暴力防止対策事業

平成23年度に実施した市民アンケート調査・被害者への聞き取り調査等をもとに、配偶者暴力防止基本計画を策定する。

また、相談員の資質向上とメンタルケアのための相談員のための相談(スーパービジョン)を実施する。

3. 予算額

【女性相談事業】

予算額	2,113千円	(財源内訳) 国庫支出金	1,995千円
(前年度)	1,405千円)	一般財源	118千円

【配偶者暴力防止対策事業】

予算額	1,900千円	(財源内訳) 一般財源	1,900千円
(前年度)	1,900千円)		



デートDV予防教育(小学校)

担当	市民文化部男女共同参画課 今井 354-8331
----	--------------------------------

住民基本台帳法の改正にかかる移行業務

1. 目的

現行の外国人登録制度が廃止されることに伴い、『住民基本台帳法の一部を改正する法律（平成21年法律第77号）』が平成24年7月9日に施行され、外国人住民も住民基本台帳制度の対象となる。

これに併せ、外国人住民への広報、データ整備等を行い、住民票に記載される事項の正確性を確保し、新制度への円滑な移行を行う。

2. 内容

(1) 仮住民票の作成

基準日（5月7日）において、外国人登録原票に登録されている者について仮住民票を作成し、本人へ通知する。

(2) 住民票の作成

仮住民票の記載事項について、本人からの申出に基づく修正等を行い、仮住民票から住民票へ移行させる。

(3) 市民課窓口レイアウト等の見直し

案内表示、受付システムの改修を行うほか、併せて外国人住民にもわかりやすい手続案内を行うため通訳を配置する。

3. 予算額 106,496千円 (財源内訳) その他特財 624千円
(前年度 193,710千円) 一般財源 105,872千円



(周知用リーフレット)

担当 市民文化部市民課
杉本
354-8152

公共施設ストックマネジメント事業

(あさけプラザ)

1. 目的

既存施設の長寿命化と維持管理費の低減を図るため、計画的に整備や改修を進める公共施設ストックマネジメント事業により、住民の文化、教育、スポーツ、福祉等の活動と交流の場として、その機能を将来にわたって維持できるよう、設備更新工事及び施設改修工事を行う。

2. 内容

(1) エレベータ更新工事 予算額 20,545 千円
27年経過したエレベータについて、停電時自動着床装置や遮煙構造などの防災性能を備えた最新機種に更新し、安全性と経済性の向上を図る。

(2) 体育館天井改修工事(吊天井崩落対策) 予算額 93,696 千円
大規模地震に対応するため体育館吊天井崩落対策工事を実施し、併せてアスベスト対策を行い、利用者の安全・安心の確保を図る。

3. 予算額 114,241千円 (財源内訳)一般財源 114,241千円
(前年度 12,000千円)



あさけプラザ体育館

担当 市民文化部あさけプラザ

山中・田中

363-0123

福 祉 部

新年度予算における基本的な方針

少子高齢化といった人口構造の大きな変化、非正規労働者の増大など雇用基盤の変化、家族形態・地域基盤の変化など、社会保障制度を支える社会経済情勢には大きな変化が生じ、セーフティネットに生じたほころびや貧困・格差の拡大など、新たな課題への対応が求められている。国では、今後、人口構成の変化が一層進んでいく社会にあっても、年金、医療、介護などの社会保障を持続可能なものとするため、現役世代も含めた全ての人が、より受益を実感できる社会保障制度の再構築を目指し、社会保障・税一体改革などが論議されている。

こうした中、本市にあっては、児童福祉では、親子が安心して医療を受けられるよう子ども医療費の助成や、特別保育、児童虐待防止等の子育て支援策を推進する。また、高齢福祉にあっては、在宅介護の充実や医療との連携を図るなど要介護高齢者の支援に努める。障害福祉にあっては、障害のある人が、住み慣れた地域で生活するための環境づくりや支援体制の強化に取り組む。地域福祉の推進の取組については、「第2次地域福祉計画」に基づき、福祉人材の育成に努めるとともに、成年後見制度の取り組み等を進めていく。

1. 児童福祉について

次代の社会を担う子どもが健やかに育つ環境を整えるため「次世代育成支援後期行動計画」に掲げる様々な子育て支援の施策を推進する。

具体的な施策として、待機児童などへの対応として、新たに私立保育園を建設する社会福祉法人に対して支援を行っていく。また、乳児保育や延長保育、特定保育、一時保育、休日保育、病児・病後児保育など、各種の特別保育サービスの拡充に努めながら保育環境の整備を図っていく。

また、保育園併設型の子育て支援センターを公立保育園で1ヶ所、民間保育所で2ヶ所拡充し、安心して子育てできるように相談や情報の提供を行うほか、遊びの場や保護者同士の交流の場の提供を行う。

子どもの虐待防止については、子どもの虐待防止とDV防止を目的としたネットワーク会議の一体的運用を行うことで、地域や関係機関とのより一層の連携を図り、虐待の未然防止、早期発見・対応に努める。

発達の遅れのある子どもへの対応については、今年4月の児童福祉法改正によって、あけぼの学園が「知的障害児通園施設」から「児童発達支援センター」へと移行し、発達に課題のある子どもたちに対して必要な支援を行っ

ていく。

母子家庭の生活の安定と自立を促すため、母子生活支援施設の活用を図るとともに、引き続き母子家庭自立支援給付金事業を実施していく。

【主な事業】民間保育所延長保育事業	135,531千円
民間保育所乳児保育促進事業	15,228千円
民間保育所特定保育事業	35,899千円
民間保育所一時保育事業	18,144千円
民間保育所休日保育事業	12,108千円
病児・病後児保育事業	16,679千円
地域子育て支援拠点事業費補助金	40,996千円
民間保育所整備事業	185,974千円
ファミリー・サポート・センター事業	10,562千円
児童虐待防止対策事業	1,220千円
母子家庭自立支援給付金事業	81,055千円
子ども手当・子どものための手当	5,956,000千円
児童扶養手当	1,088,494千円
子ども医療費助成事業	610,000千円
不妊治療医療費助成事業	24,500千円

2. 介護保険事業・高齢者施策について

本市の65歳以上人口は、平成23年10月1日現在、66,965人であり、高齢化率も21.3%となるなど、年々高齢化が進行している。その中で、高齢者が住み慣れた地域で暮し続けられる「安心と生きがいのある長寿社会」を実現するため、平成24年度からの3年間を計画期間とする「第5次介護保険事業計画・第6次高齢者福祉計画」に基づき高齢者施策を推進する。

25ヶ所の在宅介護支援センターにおいて高齢者相談事業を引き続き実施するとともに、医療と介護の連携が確保されるよう体制の整備を図り、在宅での生活を継続できるよう支援する。

また、地域包括ケアを担う中核機関である3ヶ所の地域包括支援センターにおいては、在宅介護支援センターとの関係強化を図りながら、困難な事例を抱えるケアマネジャーへの支援や高齢者の権利擁護（高齢者虐待防止、成年後見制度利用）など、より専門的な対応を行うことにより、本市独自の在宅介護支援センターと地域包括支援センター、市の「三層構造」のサービスネットワークを充実させていく。

さらに、一人暮らし高齢者の見守り支援としての訪問給食事業、家族介護の負担軽減を目的としたおむつ支援事業、要支援・要介護状態になることや重度化の予防・改善を図るための介護予防事業などに取り組む。

今後一層重要性が増す認知症対策としては、地域を中心とした啓発活動や認知症高齢者グループホームをはじめとする介護拠点の整備を推進する。

一方、一人暮らしなど在宅での介護が困難な事例も増加していることから、特別養護老人ホームなどの入所施設の整備も計画的に行っていく。

【主な事業】	在宅介護支援センター事業	136,630千円
	地域包括支援センター事業	142,774千円
	訪問給食事業	47,400千円
	おむつ支援事業	81,274千円
	介護予防事業	100,072千円
	民間社会福祉施設等整備助成事業(高齢分)	191,585千円
	介護給付費	17,439,298千円

3. 障害者福祉について

「第2次障害者計画」、「第3期障害福祉計画」に基づき、障害のある人が地域で安心して自立生活・社会生活を営めるよう、障害者施策を推進する。

介護給付費、訓練等給付費のほか、自立支援医療費及び補装具費などの自立支援給付事業について、その利用の状況や施設整備の状況を把握し、安定した障害福祉サービス提供体制の整備に努める。具体的な施策として、生活介護事業所、多機能型事業所、グループホーム等の施設整備支援、就労支援事業、相談員設置事業を実施する。

地域生活支援事業については、障害のある人の地域での生活を支援するため、相談支援事業の強化に努めるとともに、日常生活用具等給付事業や移動支援事業、日中一時支援事業、成年後見制度利用支援事業などの充実を図る。

【主な事業】	居宅介護等事業	227,880千円
	生活介護事業	1,387,430千円
	自立支援医療費	300,221千円
	補装具費	61,000千円
	相談支援事業	39,893千円
	日常生活用具等給付事業	51,000千円
	移動支援事業	26,980千円
	日中一時支援事業	20,800千円
	障害者医療費助成	759,900千円

4 . 生活保護について

保護の状況は、平成7年（4.6%、受給世帯940世帯）から毎年増加傾向の中、平成20年末の世界同時不況以降急激に増加し、平成23年12月末現在で、保護率は12.7%、受給世帯は2,765世帯に達している。

最近の雇用情勢には一部改善の兆しはあるものの、楽観できない状況が続くものと見込まれるため、引き続き生活支援専門相談員や就労支援員を配置し、きめ細かい相談と保護の適正実施、就労指導による自立を図っていくとともに、住宅手当緊急特別措置事業を活用しながら、生活困窮者への適正な支援を行う。

【主な事業】	扶助費	6,301,000千円
	住宅手当緊急特別措置事業	26,000千円
	セーフティネット支援対策等事業	4,820千円

特別保育事業の充実

1. 目的

「次世代育成支援後期行動計画」に基づき、多様な保育サービスのより一層の充実を図り、子どもを「産み」「育てる」ためのより良い環境づくりを目指す。

2. 内容

乳児保育や 11 時間の開所時間を超えて実施する延長保育、週 2、3 日利用できる特定保育、仕事や病気、用事がある時などに利用できる一時保育、日曜・祝日に働く保護者のための休日保育、児童が病気回復期に利用できる病児・病後児保育の特別保育サービスを提供する。

【特別保育実施園数】

	乳児保育	延長保育	特定保育	一時保育	休日保育	病児保育	計
平成 22 年度	30	22	11	11	1	1	76
23 年度	30	22	12	13	1	1	79
24 年度	31	23	14	15	2	1	86

(平成 24 年度拡充園)

乳児保育 1 園 (日の本)、延長保育 1 園 (日の本)

特定保育 2 園 (日の本・たいすい中央)、一時保育 2 園 (日の本・たいすい中央)

休日保育 1 園 (日の本)

3. 予算額

233,589 千円	(財源内訳)	国庫支出金	9,097 千円
(前年度 219,836 千円)		県支出金	98,813 千円
		その他	9,067 千円
		一般財源	116,612 千円

担当 福祉部 児童福祉課
大西

354 - 8173

民間保育所整備事業

1. 目的

民間保育所の整備に対して、補助を行い、待機児童の解消を図るとともに、より多様な保育サービスの提供を行う。

2. 内容

(1) 民間保育所の新設に要する経費の一部を補助する。

対象者	社会福祉法人 四季の里 〔(仮称)どんぐり保育園〕
予定地	海蔵地区
定員	90人
補助額	174,729千円

(2) 民間保育所の大規模修繕に要する経費の一部を補助する。

対象者	社会福祉法人 愛育会 〔三重愛育保育園〕
所在地	三重地区
定員	150人
補助額	11,245千円

3. 予算額

185,974千円	(財源内訳)	県支出金	94,861千円
(前年度333,600千円)		一般財源	91,113千円

担当	福祉部 児童福祉課
	大西
	354-8173

(新) パパの子育て支援事業

1. 目的

父親の子育ての参加機会の提供と知識の普及を行い、男女共同での子育て社会の実現を目指す。

2. 内容

父親の子育てマイスター養成講座の修了者が中心となって、男性の育児サークルが起ち上がった。このサークルの協力を得ながら、父親がより積極的に子育てに参画できる企画を充実させるとともに、男性への育児情報の提供を行い、子育て家庭を支援していく。

父親の子育てマイスター活動費 112千円【拡充】
子育て情報パンフレット作成費等 2,500千円【新規】

3. 予算額

2,612千円 (財源内訳) 一般財源 2,612千円
(前年度 100千円)



担当 福祉部 児童福祉課
横山

354 - 8173

子ども手当・子どものための手当

1. 目的

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、中学校修了までの子どもを養育している者に手当を支給する。

2. 内容

	子ども手当	子どものための手当	
	H24.2,3月分	H24.4,5月分	H24.6月以降分
所得制限	なし	なし	あり
支給額（一人につき月額）			(所得制限内)
3歳未満	15,000円	同左	同左
3歳以上小学校修了まで (第1・2子)	10,000円	同左	同左
(第3子以降)	15,000円	同左	同左
小学校修了後中学校修了まで	10,000円	同左	同左
			(所得制限超) 中学校修了まで 5,000円
支給月	6月、10月、2月（それぞれ前月分までを支給）		

所得制限...平成24年6月分から適用。

所得制限は、960万円(夫婦、子ども2人の場合)を基準とし、扶養親族数に応じて加減した額

3. 予算額

	5,956,000 千円	(財源内訳)	国庫支出金	4,203,900千円
(前年度	7,622,000 千円)		県支出金	876,050千円
			一般財源	876,050千円

担当 福祉部 福祉総務課
高田

3 5 4 - 8 1 6 3

特別養護老人ホーム建設費補助金

1. 目的

常時介護を必要とし在宅での介護が困難な人を対象とする特別養護老人ホーム（定員30人以上）の整備を推進する。

2. 内容

四日市市民間社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱に基づき、施設整備に要する経費の一部を補助する。

対象者	社会福祉法人永甲会
場所	羽津地区
定員	80人
補助基準	県補助金（270,000千円）の1/8
補助額	33,750千円

3. 予算額

33,750千円（財源内訳） 一般財源 33,750千円
（前年度 46,406千円）

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

在宅介護支援センター整備費補助金

1. 目的

地域の身近な相談窓口として定着している在宅介護支援センターの拠点整備を推進し、高齢者等の見守り・支援体制を一層充実させる。

2. 内容

未整備の地区において、在宅介護支援センターを新たに整備する法人を対象に、開設に要する経費の一部を補助する。(平成24年度 全地区整備完了)

対象者	社会福祉法人青山里会
場所	水沢地区
補助基準	2,000千円/1施設
補助額	2,000千円

3. 予算額

2,000千円 (財源内訳) 一般財源 2,000千円
(前年度2,000千円)

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

(新) 認知症高齢者グループホーム建設費補助金

1. 目的

認知症の高齢者が住み慣れた地域で共同生活をしながら介護を受けることができるよう認知症高齢者グループホームの整備を推進し、地域における介護拠点の充実を図る。

2. 内容

緊急経済対策による介護基盤緊急整備等臨時特例基金を活用し、施設整備に要する経費の一部を補助する。

対象施設	3施設
補助基準	30,000千円 / 1施設
補助額	90,000千円

3. 予算額

90,000千円 (財源内訳) 県支出金 90,000千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 介護・高齢福祉課
森

354 - 8425

(新) 障害者グループホーム等建設費補助金

1. 目的

障害者の地域生活を支援するためのグループホーム・ケアホームの整備に対し、補助を行い障害者福祉の向上に資する。

2. 内容

(1) 対象者 社会福祉法人 わかたけ
場 所 内部地区
定 員 7人×2棟
総事業費 86,270千円
補助額 30,000千円(15,000千円×2棟)

(2) 対象者 社会福祉法人 四日市福祉会
場 所 海蔵地区
定 員 5人
総事業費 27,678千円
補助額 15,000千円

3. 予算額

45,000千円	(財源内訳)	県支出金	22,500千円
(前年度 0千円)		一般財源	22,500千円

担当 福祉部 障害福祉課
水谷

354 - 8527

(新)生活介護事業所施設建設費補助金

1. 目的

生活介護事業所の施設整備に対し補助を行い、障害者福祉の向上に資する。

2. 内容

四日市市民間社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱に基づき、施設整備に要する経費の一部を補助する。

対象者 社会福祉法人 永甲会
場 所 羽津地区
定 員 30人
補助基準 国庫補助基準額 (83,400千円) × 1/4
補 助 額 20,850千円

3. 予算額

20,850千円 (財源内訳) 一般財源 20,850千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 障害福祉課
水谷
354 - 8527

(新)多機能型事業所施設建設費補助金

1. 目的

生活介護型と就労継続B型の機能を備えた多機能型事業所の施設整備に対し補助を行い、障害者福祉の向上に資する。

2. 内容

四日市市民間社会福祉施設等施設整備費補助金交付要綱に基づき、施設整備に要する経費の一部を補助する。

対象者	社会福祉法人 あいプロジェクト
場 所	三重地区
定 員	30人
補助基準	国庫補助基準額 (92,332千円) × 1/4
補助額	23,083千円

3. 予算額

23,083千円 (財源内訳) 一般財源 23,083千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 障害福祉課
水谷
354 - 8527

(新) 相談員設置事業

1. 目的

身体・知的障害者の更生援護に関し、本人又はその家族等からの相談に応じ、必要な指導、助言を行うとともに、地域活動の推進や障害者理解を促進し、障害者福祉の増進に資する。

2. 内容

身体障害者相談員・知的障害者相談員を委嘱し、障害者の身近な相談員として障害者の立場から応じることで障害者の自立促進や社会参加を促進する。

なお、この事業は「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」に基づき、三重県から法定権限委譲されたものである。

3. 予算額

534千円 (財源内訳) 一般財源 534千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 障害福祉課
水谷
354 - 8527

(新) 障害者就労支援事業

1. 目的

障害特性に応じ、市の各所属の業務について実習が可能な業務を集約し、実習を実施するとともに、民間企業にも実習や雇用を働きかける就労支援コーディネーターを四日市市社会福祉協議会に委託し、配置することで障害者の雇用や社会参加の促進を行う。

2. 内容

就労支援コーディネーターの役割

- (1)市役所各課の業務を障害者の特性や能力に応じて集約し、四日市障害者就業・生活支援センター プラウ登録者、障害者就労支援事業所利用者に仕事を分配し、実習を実施する。
- (2)各所属、商業勤労課が育成したジョブサポーター、プラウ、就労支援事業所と連携し、実習を指導する。
- (3)障害者実習の受入が進むよう各関係機関等と連携し、民間企業にも実習や雇用を働きかけ、障害者法定雇用率達成に向けた啓発を行う。

3. 予算額

5,120千円(財源内訳) 一般財源 5,120千円
(前年度 0千円)

担当 福祉部 障害福祉課
田中
354 - 8527

(新)障害者医療費助成対象拡大

1. 目的

現在、精神障害者保健福祉手帳 1 級所持者については、通院医療費を助成対象にしているが、入院医療費まで対象を拡大し、経済的負担を軽減し、保健の向上と福祉の増進を図る。

2. 内容

(1) 障害者医療費助成制度

対 象 者	助 成 額
1. 身体障害者手帳 1 ~ 3 級 2. 知能指数 70 以下 3. 精神障害者保健福祉手帳 1 級 上記 1 ~ 3 のいずれか 1 項目に該当する者で、国民健康保険の被保険者または社会保険等の被保険者及び被扶養者 (生活保護受給者は除く) 対象者に対する所得制限あり	保険診療の自己負担額

(2) 拡大の時期 平成 24 年 9 月診療分から拡大

3. 予算額

(1) 障害者医療費助成 759,900 千円 (財源内訳) 県支出金 347,177 千円
(前年度 727,000 千円) 一般財源 412,723 千円

(2) 医療費証明書料 17,737 千円 (財源内訳) 県支出金 7,074 千円
(前年度 16,260 千円) 一般財源 10,663 千円

【参考】うち精神 1 級入院分 (拡大分) 所要額

(1) 障害者医療費助成 8,900 千円 (財源内訳) 一般財源 8,900 千円

(2) 医療費証明書料 51 千円 (財源内訳) 一般財源 51 千円

担当 福祉部福祉総務課
高田

3 5 4 - 8 1 6 3

健 康 部

新年度予算における基本的な方針

市民の健康を取り巻く環境は、子育てやこころに関する問題、生活習慣病の増加のほか、地域医療の確立等多くの課題を抱えている。

これらの課題に関して、「四日市市健康づくり計画」(平成21年度策定)に基づき、「子育て」、「健康づくり」、「安全安心」の視点から、実効性のある事業の推進に努める。

1. 医療事業について

地域医療を推進するため、「四日市市安心の地域医療検討委員会」での検討を踏まえ、具体的な施策として、潜在看護師の発掘、訪問看護師向け研修の開催など訪問看護を始めとした看護力アップのための取り組み、市民への「在宅医療」、「かかりつけ医」等についての周知・啓発などに努めていく。さらに、在宅医療体制の整備推進に向けた在宅医の後方支援体制等について、関係機関との検討を進める。

また、医療法等関係法令に基づき、医療機関等に対して立入検査を実施し、医療安全確保に向けた指導を行う。また、医療ネットみえに登録する医療機関を増やすことにより、市民に情報を提供すると共に、市民が安心して医療機関に受診できる基盤の確保に努める。

【主な事業】	地域医療推進事業	14,995千円
	医療法等施行事務	442千円

2. 保健事業について

母子保健事業については、安心、安全に妊娠、出産、子育てができる体制を推進するため、妊婦健康診査を実施し、育児不安が大きい生後4か月までの乳児がいる家庭に対しての全戸訪問や、子育て支援センターや保育園等との連携を図り、育児不安、発達障害、虐待等の早期発見・早期対応に努める。

また、子どものときからの健康づくりとして、食育や歯科保健にも取り組んでいく。

予防接種事業での任意予防接種については、子宮頸がん等のワクチン接種の全額助成および高齢者肺炎球菌ワクチンの接種費用の補助を引き続き行っていく。

成人保健事業については、30代～50代の働く世代に対して健康意識の向上のための重点的な働きかけを行い、特に、死亡原因第1位の悪性新生物(がん)を早期に発見・治療するため、民間との協働も含め、がん検診の受診率向上に取り組んでいく。

市民健康づくり推進事業については、市民が身近な地域で自主的に健康づくりに取り組めるよう、生活習慣病予防、介護予防教室の開催をはじめ、健康ボランティアの養成、健康づくり関連団体への支援を行う。

【主な事業】	こんにちは赤ちゃん訪問事業	9,050千円
	検診事業	318,378千円
	がん検診推進事業	64,880千円
	妊産婦乳幼児健康診査事業	334,977千円
	健康づくり市民協働事業	11,656千円
	乳幼児等予防接種事業	360,030千円
	子宮頸がん等ワクチン接種事業	485,951千円

3. 保健予防事業について

感染症対策事業については、インフルエンザ等の流行前期での予防啓発や状況に応じた効果的な情報提供を行うとともに、また、感染症の発生時には、患者の人権を尊重し迅速かつ的確な対応と情報提供によりまん延防止を図る。

エイズ対策事業については、エイズ相談やHIV抗体検査の実施による正しい知識の普及、早期治療、二次感染の防止に努めるとともに、市内大学生と協働での啓発資料の作成やキャンペーンの実施等、患者の偏見解消、エイズや性感染症に対する正しい知識の普及啓発を行う。

結核対策事業については、患者管理の徹底、接触者検診の実施により、再発防止、早期発見により、まん延を防止する。

こころの健康づくり支援事業については、より市民の活用を図るため、こころの相談窓口の体制・機能の充実を図る。また精神障害者への理解を深めるため地域と一体となった普及啓発活動の実施、メンタルパートナーの養成研修により支援者を養成するとともに、庁内関係各部や関係機関と連携した自殺対策を行う。

精神保健措置事業については、自傷他害のおそれがあり緊急に医療及び保護が必要な精神障害者に対して、法に基づき患者の人権を尊重した措置を講じる。

【主な事業】	こころの健康づくり支援事業	2,597千円
	結核対策事業	12,480千円
	感染症対策事業	1,425千円

4. 衛生指導事業について

食の安全安心に関する事業については、食品衛生法の規定に基づき、四日市市食品衛生監視指導計画を策定し、効率的かつ効果的な食品関連施設等に対する監視指導及び食品の検査などを実施する。そして、食品事業者に対して四日市市食品衛生自主管理登録認定制度による自主衛生管理を推進し、市民の食の

安全を確保する。

薬事関係については、医薬品・医薬部外品の有効性・安全性を確保し、さらに毒物劇物による事故、盗難を防止するため薬局・医薬品販売業及び毒物劇物取扱業者への監視指導により、市民の保健衛生上の危害を未然に防止する。

薬物防止対策については、薬物乱用防止対策協議会や地域の自治会等と協働でキャンペーンを開催し、薬物を許さないまちづくりを推進する。

動物愛護管理事業については、動物の愛護及び管理に関する法律や狂犬病予防法に基づき、飼い主不明の犬の保護・抑留・飼えなくなった犬猫の引取、飼い方に関する情報や相談に対応し、適正飼養や終生飼養について助言・指導を行う。また、収容された犬に可能な限り生存する機会を与えるため、成犬や子犬の譲渡事業を行い、処分数の減少に努める。

さらに、未就学児や小学生低学年児童を対象に「犬の接し方教室」を開催し、動物愛護の精神を広め、犬の咬傷事故を防止し、人と動物との共生について啓発を行う。

【主な事業】	食の安全安心対策事業（監視部門）	10,280千円
	薬事審査指導事業	1,588千円
	小動物管理費	26,240千円

5. 食品衛生検査事業について

感染症対策については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により規定されている感染症に対し、感染疑いのある人の微生物保有検査または感染者の家族・接触者等の微生物保有検査を実施し、感染症発生の予防及び蔓延防止に努める。また、HIV抗体検査などを実施し、感染の早期発見に努める。

食の安全安心対策については、安全な食肉・食品を提供するため、と畜場法や食品衛生法に基づき、適切など畜検査を行う。また流通している食品を収去検査し、食中毒発生時には正確な検査で被害の拡大を防止する。

施設整備事業については、市施設として食肉検査部門の建屋の新設に向け、基本設計などに着手する。

【主な事業】	感染症対策事業（検査部門）	4,258千円
	食の安全安心対策事業（検査部門）	23,628千円
	保健所関連施設整備事業（食品衛生検査所）	27,700千円

6. 国民健康保険事業について

国民健康保険事業については、被保険者が安心して医療サービスを楽しむことができるよう、安定的に収入を確保し財政基盤を確立するとともに、医療費の適正化を図ることにより、国保財政の健全化を推進していく。

特定健康診査・特定保健指導については、引き続き受診率・実施率の向上に取り組むとともに、「がん検診」「脳ドック」「歯科検診」の補助事業を継続し、医療費抑制を図る。

収納対策については、市民に対しきめ細やかで丁寧な納付相談を行うことにより、保険料納付に理解を求め、累積滞納額の削減に努める。さらに、督促状による保険料の納付についてもコンビニ収納を可能とし、納付者の利便性と収納率の向上を図る。

【主な事業】	保険給付費	19,780,690千円
	保健事業費	287,176千円
	保険料収入	7,792,334千円

地域医療推進事業

1. 目的

近年の医療環境は年々厳しくなっており、医療への市民ニーズの観点からも、年間死亡者数の増加に伴う医療供給体制・医療費の適正化の側面からも、生活者の視点に立ち、生活を支え、生活の中での最期をあたり前に迎えられるような医療の確立と充実が重要な課題となっている。

今後ますます重要となる在宅医療の推進のために、希望する市民が在宅での療養や看取りが選択できるよう環境整備を推進する。

2. 内容

「四日市市安心の地域医療検討委員会」の検討結果を踏まえ、本市の社会資源を活用し、市民の安心感と満足度を高めるため、保健、医療、福祉のサービスを切れ目なく適切に受けることができる体制の構築を目指す。

具体的事業としては、訪問看護師養成、育成のための研修実施、医療関係者の知識向上を目指した研修会の開催を行う。市民向けには、市民自らが行う在宅医療に関する普及・啓発事業への支援、「かかりつけ医」の普及・啓発のためのハンドブックの作成や講演会等を開催する。

また、在宅医療体制の整備推進のため、在宅医の後方支援体制等について、関係機関との協議検討を進める。

3. 予算額 14,995千円 (財源内訳) その他特財 279千円
(前年度 9,600千円) 一般財源 14,716千円



市民による在宅医療啓発活動事業



訪問看護師養成講座学内実習

担当 健康部 健康総務課
岡本、岩波
354 - 8281

医療法等施行事務費

1. 目的

医療機関における安全な環境の基盤確保のため、医療法等関係法令に基づき、人員の配置や構造設備に関する検査を実施するとともに、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理も行う。

2. 内容

(1) 立入検査

市内には、病院が13施設あり、厚生労働省の立入検査実施要綱に基づき、毎年、医療安全対策や無資格者による医療行為の防止・医薬品管理等に関連する事項について立入検査を実施し、確認・検査している。

また、医科診療所・歯科診療所・助産所併せて約400施設あり、毎年、開設診療所の約1/5程度を対象に、医療安全対策・院内感染対策を中心に立入検査を実施している。

(2) 開設・内容変更・廃止等

医療法及び関連法令による、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務(許可・確認・受理)を行っている。

(3) 医師歯科医師その他医療従事者免許申請等の受理、免許証の交付

住民票が県内にある、免許申請者の申請受理や交付を行なっている。

3. 予算額	442千円	(財源内訳)	その他特財	410千円
(前年度)	435千円)		一般財源	32千円



立入検査

担当	健康部	健康総務課
	白木	
		352-0590

健康づくり市民協働事業

1. 目的

市民が身近な地域で自主的に健康づくりに取り組むことで、健康づくりの機運を高めるため、生活習慣病予防・介護予防教室の開催、健康ボランティアの養成、健康づくり関連団体への支援を行い、健康寿命の延伸を目指す。

2. 内容

(1)生活習慣病予防・介護予防教室の実施

介護予防の取り組みにおいて、元気高齢者から虚弱、そして要介護状態に至る一連の流れの中で、地域に根ざした切れ目のない支援を実施するため新たに「地域一体型介護予防事業」を実施する。

(2)各種教室参加者から健康ボランティアの人材発掘

個人への健康づくりの知識や運動技術の提供だけでなく、その学びを地域で広めていける健康ボランティア養成へつなげる。

(3)健康づくり関連団体等へのスキルアップ

地域で活躍する健康づくりの専門職や関連団体へ知識・技術の提供と、情報交換の場をもち連携を強化していくよう支援する。

3. 予算額	11,656千円	(財源内訳)	国庫支出金	1,704千円
(前年度)	11,050千円)		県支出金	971千円
			その他特財	4,168千円
			一般財源	4,813千円



お達者クラブの運動風景

担当 健康部健康づくり課

上原

354 - 8291

こころの健康づくり支援事業

1. 目的

患者の自立、社会参加の促進や精神障害への理解を深めるため「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）」に基づき、適切な対応を図るとともに、普及啓発活動を行う。

また、「自殺対策基本法」に基づき、総合的な自殺対策の取り組みを推進する。

2. 内容

(1)精神保健対策として、精神疾患を持っている市民が早期に受診行動がとれるよう、こころの相談体制の充実、訪問等により支援し、総合的かつ専門的な立場から更なる初期対応を強化する。

(2)若年者の精神疾患予防については、早期支援体制の充実、強化を図る。

さらに、市民のこころの健康の保持・増進を図るため、正しい知識の普及啓発を行い、地域の支援者を増やす。

(3)自殺対策では、自殺を考えている人を相談につなげる仕組みを構築するため、メンタルパートナーの養成研修を行い支援者を養成する。また、アルコール問題も含め自殺対策を行う、四日市地域の医療機関や職域・地域で組織されている産官民一体となった団体の支援をするとともに、庁内関係部署との連携により総合的な自殺対策に取り組む。

3. 予算額 2,597千円 (財源内訳) 県支出金 1,177千円
(前年度 2,650千円) 一般財源 1,420千円



こころの健康講座継続研修

担当 健康部 保健予防課
服部

352 - 0596

食の安全安心対策事業（監視部門）

1. 目的

食品衛生法に基づき、「四日市市食品衛生監視指導計画」を策定し、食品事業者に対して監視指導を行い、食品衛生管理を向上させ、食品による健康被害を未然に防止する。

また、市内に流通する食品について食品衛生法に基づく検査を行い、違反・不良食品を排除し、安全な食品の流通を確保する。

2. 内容

(1) 食品の生産から販売に至る食品供給行程の各段階における衛生確保のために、監視指導を行う。

重点監視項目としては、富山県等における腸管出血性大腸菌による死亡事例や全国で増加傾向にあるカンピロバクター食中毒事例を踏まえ、それらの原因となりやすい店舗等の監視指導を行う。また、冬期に多発するノロウイルスによる大規模な食中毒につながる施設への監視指導を強化する。

(2) また、HACCP(高度自主衛生管理手法)に基づいた「四日市市食品衛生自主管理登録認定制度」の普及を積極的に行い、事業者の自主衛生管理を推進する。

食品表示は消費者の重要な情報源であることから、表示の様々な法律を所管する部署と連携し、事業者が適正な表示ができるよう助言・指導を行う。

(3) 生産、製造、加工又は販売される食品等について、食品衛生法に定める規格基準等に適合しているかを検査し、違反・不良食品等を排除し、再発を防止することにより、安全な食品を確保する。

3. 予算額 10,280千円 (財源内訳) その他特財 10,280千円
(前年度 12,315千円)



給食施設監視

担当 健康部 衛生指導課
加藤

352-0592

感染症対策事業（検査部門）

1. 目的

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、迅速な検査対応をすることにより、感染症の発生予防及び蔓延防止に努める。

2. 内容

感染の疑いのある人の微生物保有検査または感染者やその家族、接触者の微生物保有検査を実施し、感染の予防及び蔓延防止に努める。また、HIV抗体検査などを実施し、感染を早期発見するとともに、早期治療および二次感染防止に努める。

3. 予算額 4,258千円 （財源内訳） 国庫支出金 1,514千円
（前年度 8,199千円） 一般財源 2,744千円



PCR（核酸増幅）検査



HIV 検査

担当 健康部 食品衛生検査所
寺尾、岡本
TEL 352 - 0785

食の安全安心対策事業（検査部門）

1. 目的

近年、消費者の食品への関心が高まる中、食品・食肉の安全安心が求められており、と畜場法や食品衛生法に基づく検査を確実に実施することにより、安全な食品・食肉を消費者に提供していく。

2. 内容

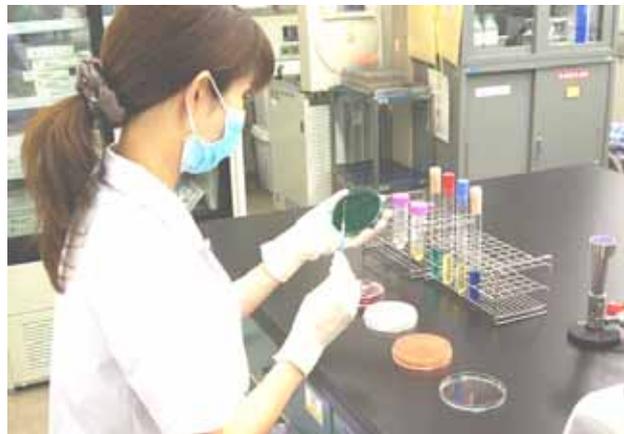
安全な食肉を提供するためBSE検査、残留有害物質検査等を行う。

また、流通過程の食品を収去検査し、食品の安全を図っていくとともに、食中毒発生時には原因究明のための迅速な検査を実施し拡大防止に努める。

3. 予算額	23,628千円	(財源内訳)	国庫支出金	2,186千円
(前年度)	24,929千円)		その他特財	13,259千円
			一般財源	8,183千円



と畜検査（牛枝肉検査）



食中毒検査（細菌培養）

担当	健康部	食品衛生検査所
	中村、岡本	
TEL	352-0785	

(新) 保健所関連施設整備事業 (食品衛生検査所)

1. 目的

食品衛生検査所の食肉検査部門の老朽化に伴い、四日市市食肉センター・食肉地方卸売市場に隣接する土地に建屋を新設し、平成 26 年度より供用を開始する。

2. 内容

食品衛生検査所の新設に伴う土地調査(ボーリング調査)、基本設計、実施設計を行う。

3. 予算額 27,700千円 (財源内訳) 市 債 15,800千円
(前年度 0千円) 一般財源 11,900千円

4. スケジュール

平成 24 年度	基本設計及び実施設計、土地調査
平成 25 年度	建屋整備工事、設備・備品等の移設・整備
平成 26 年度	供用開始



担当 健康部 食品衛生検査所
近藤 心
TEL 3 5 2 - 0 7 8 5

国民健康保険特定健診等事業

1. 目的

保健事業として、生活習慣病の発症の原因とされるメタボリックシンドローム（内蔵脂肪型肥満）に着目した特定健康診査を行い、早期に該当者及び予備群を発見する。その後に特定保健指導を実施し、生活習慣を変えることにより重症化、重度化を防ぎ、健康の維持・増進を図るとともに医療費の抑制を図る。

2. 内容

特定健康診査等事業について、四日市市国民健康保険に加入している40歳～74歳の人を対象に特定健康診査を引き続き行い、リスク要因の高い人には、特定保健指導（動機付け支援又は積極的支援）を行う。平成23年度に実施した未利用者対象のアンケート調査結果を参考にし、特定健康診査等事業の趣旨及び重要性についてもさらなる周知を図り、合わせて関係機関との連携も図りながら、受診率を向上させることに努めていく。

3. 予算額	237,001千円	（財源内訳）	国庫支出金	45,796千円
（前年度	272,165千円）		県支出金	45,796千円
			その他	99,613千円
			一般財源	45,796千円



特定保健指導の面談及び栄養指導

担当 健康部 保険年金課
伊藤

354 - 8158